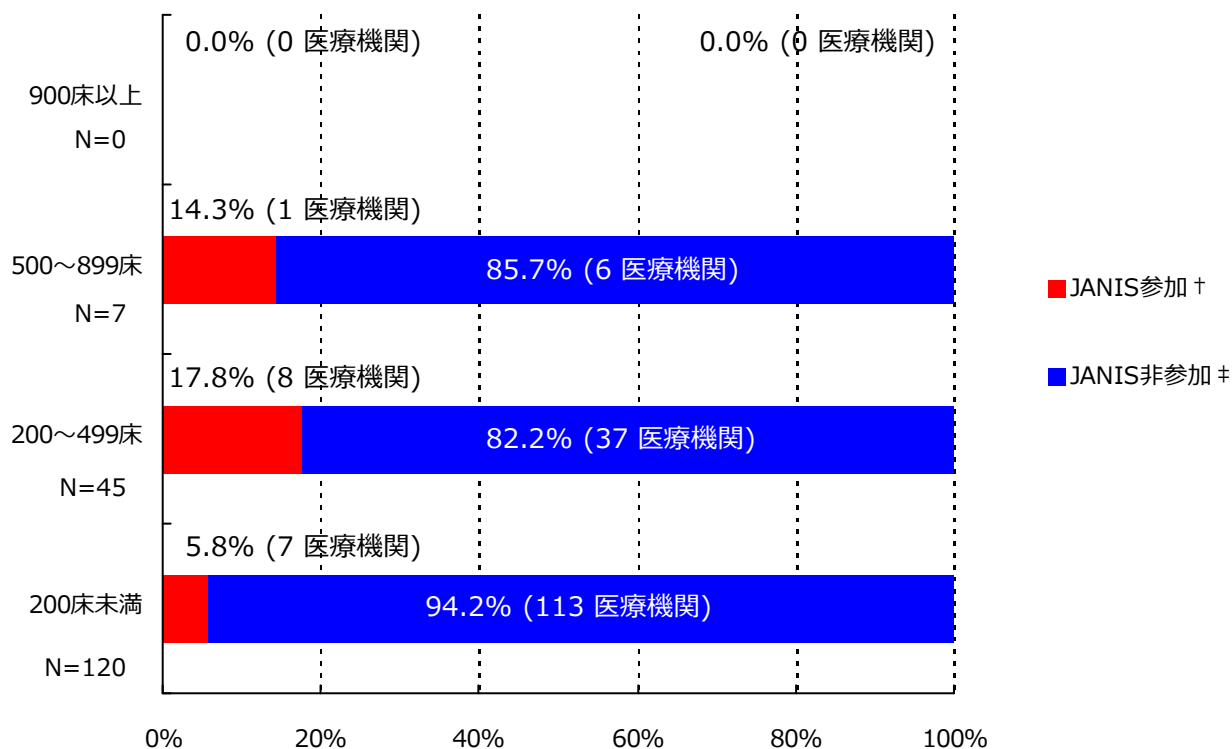


1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	7	1 (14.3%)
200～499床	45	8 (17.8%)
200床未満	120	7 (5.8%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	172	16 (9.3%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(茨城県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	17	65,879	6	189	2.87%	0.00 1.58 12.69
2021年	15	55,761	0	183	3.28%	0.00 1.74 23.90
2022年	16	65,620	3	161	2.45%	0.00 1.50 18.74

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	17	65,879	0	5	0.08%	0.00 0.00 0.71
2021年	15	55,761	0	3	0.05%	0.00 0.00 0.66
2022年	16	65,620	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.17

(茨城県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	17	65,879	0	13	0.20%	0.00 0.00 1.51 -----
2021年	15	55,761	0	10	0.18%	0.00 0.00 1.55 -----
2022年	16	65,620	1	19	0.29%	0.00 0.00 2.88 -----

(茨城県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

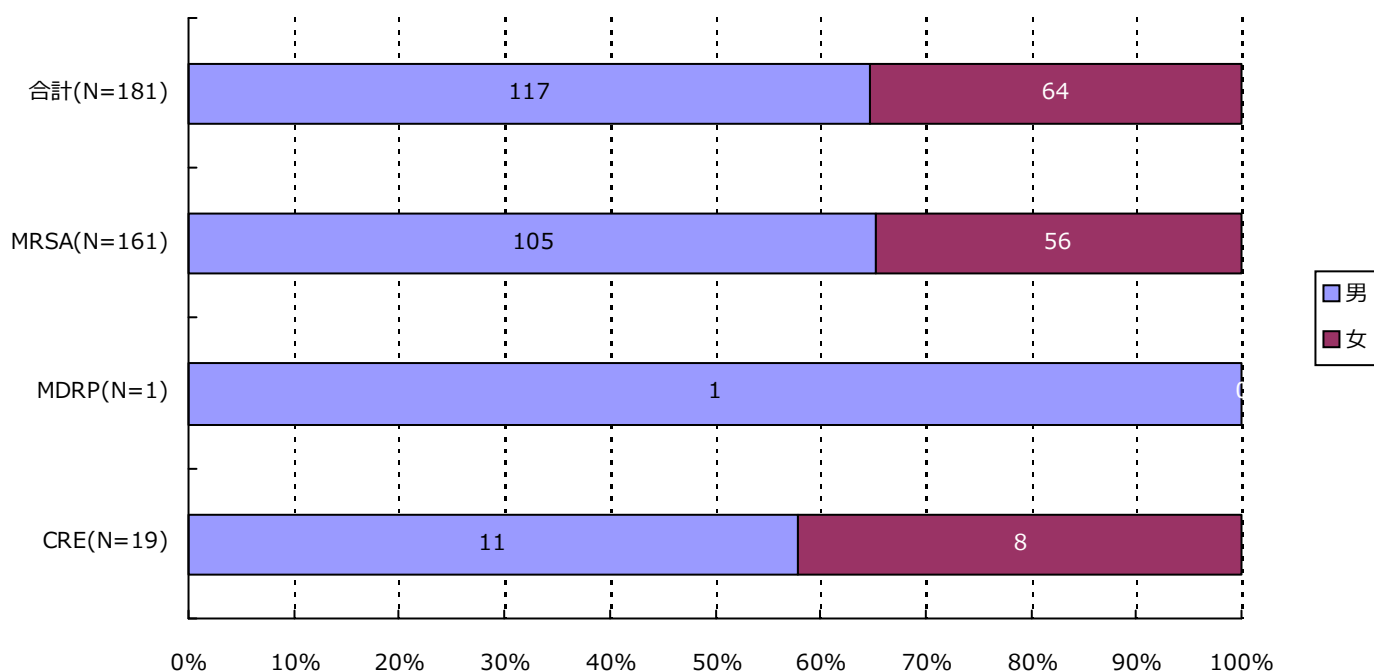
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	117(64.6%)	105(65.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	11(57.9%)
女	64(35.4%)	56(34.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	8(42.1%)
合計	181	161	0	0	0	1	0	19

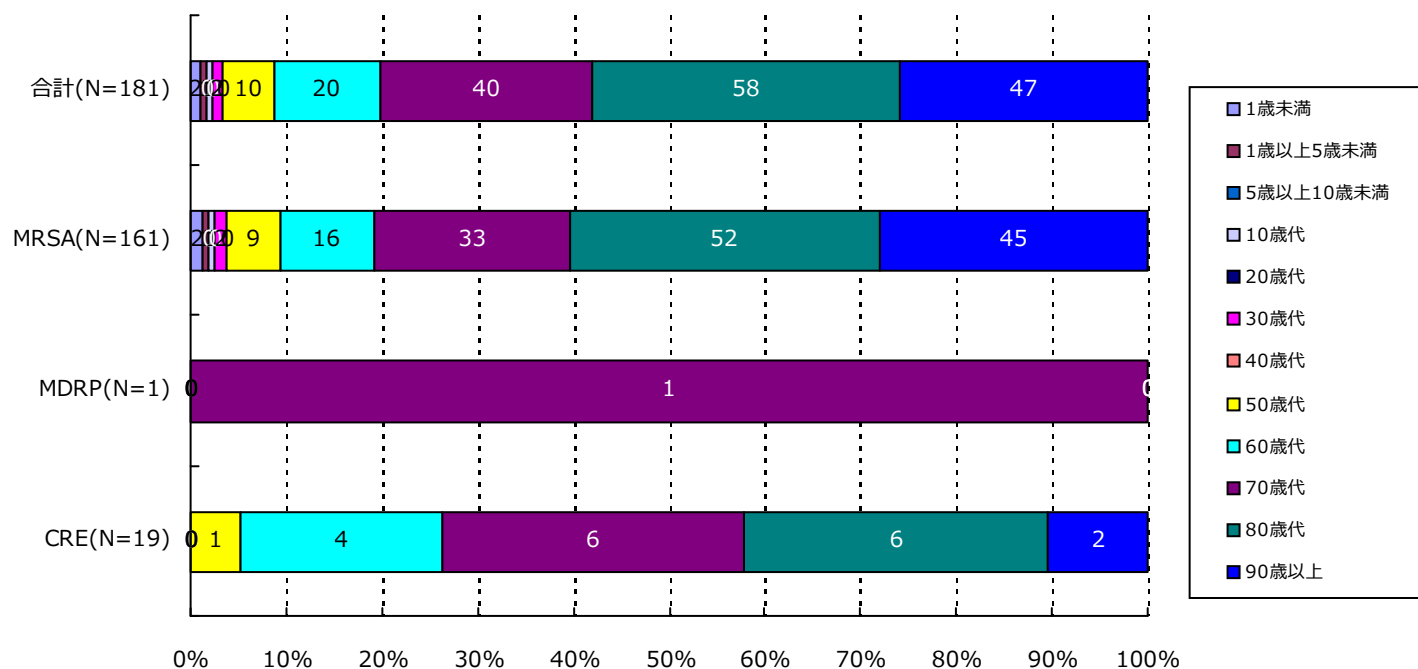
(茨城県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

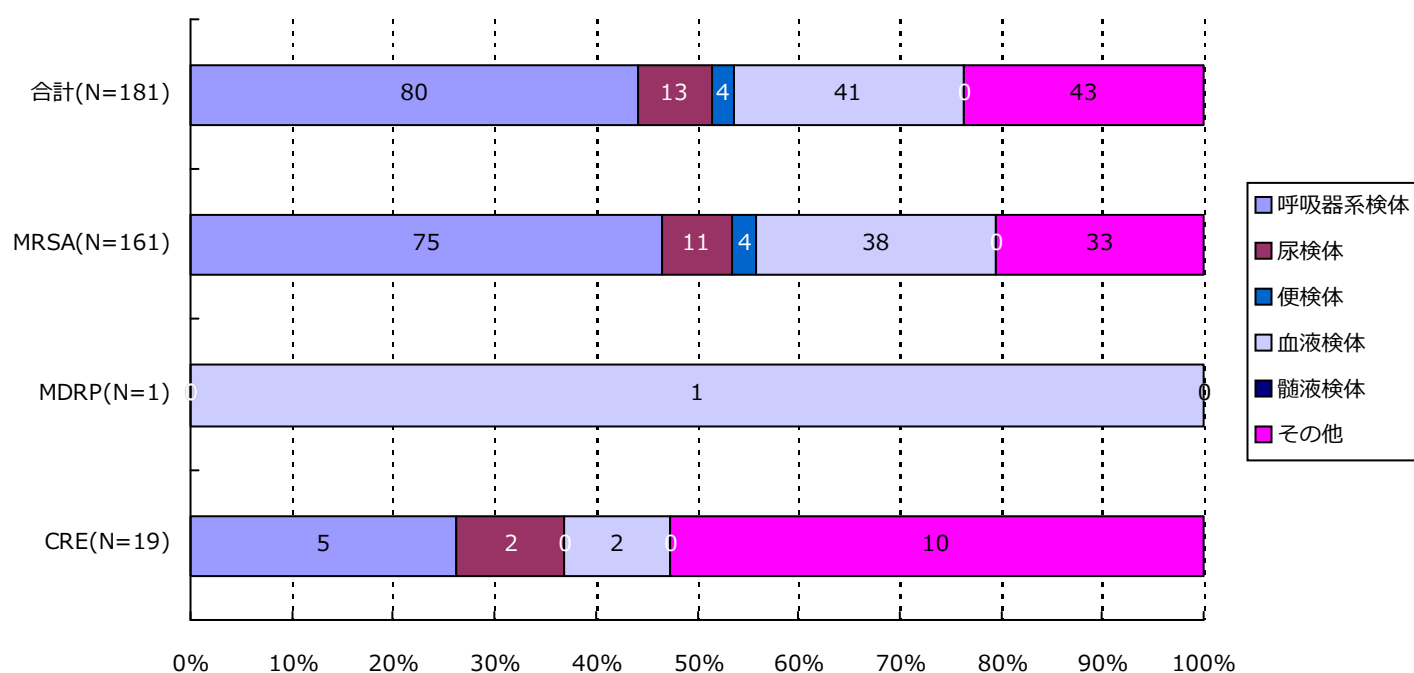


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(1.1%)	2(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(1.1%)	2(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	10(5.5%)	9(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.3%)
60歳代	20(11.0%)	16(9.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(21.1%)
70歳代	40(22.1%)	33(20.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	6(31.6%)
80歳代	58(32.0%)	52(32.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(31.6%)
90歳以上	47(26.0%)	45(28.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
合計	181	161	0	0	0	1	0	19

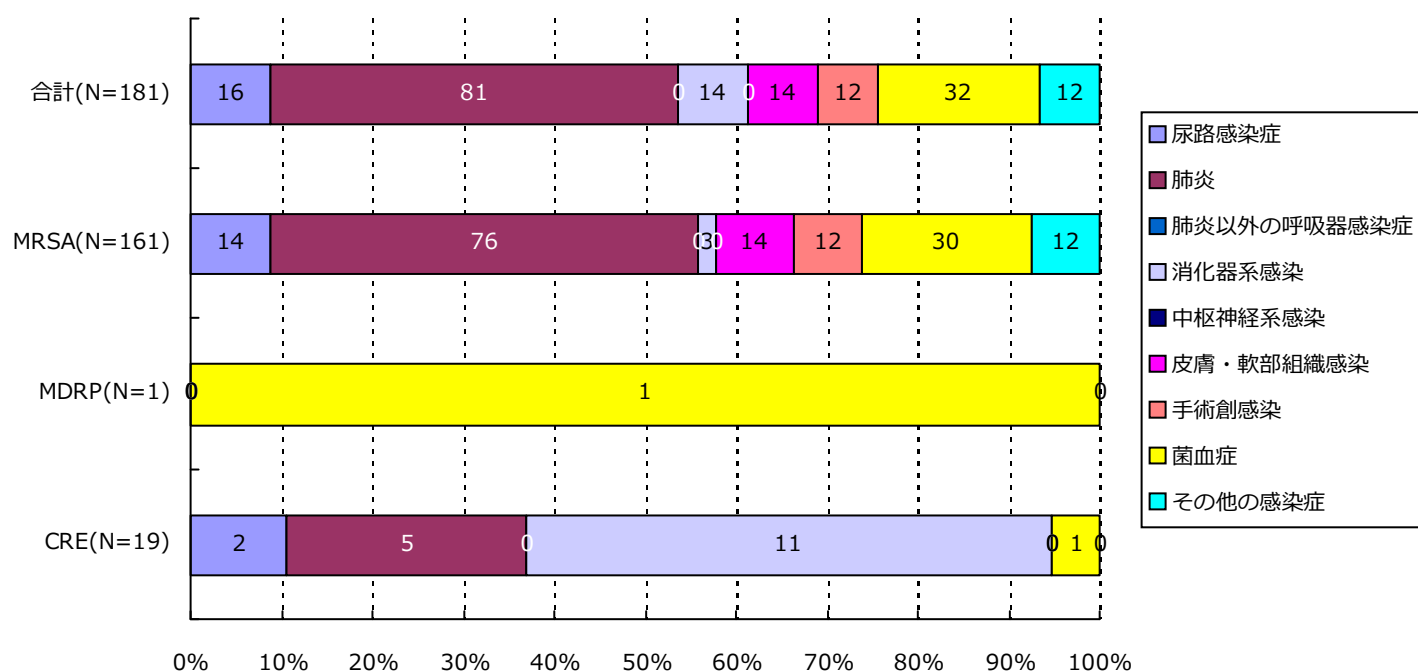
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	80(44.2%)	75(46.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(26.3%)
尿検体	13(7.2%)	11(6.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
便検体	4(2.2%)	4(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	41(22.7%)	38(23.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	2(10.5%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	43(23.8%)	33(20.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	10(52.6%)
合計	181	161	0	0	0	1	0	19

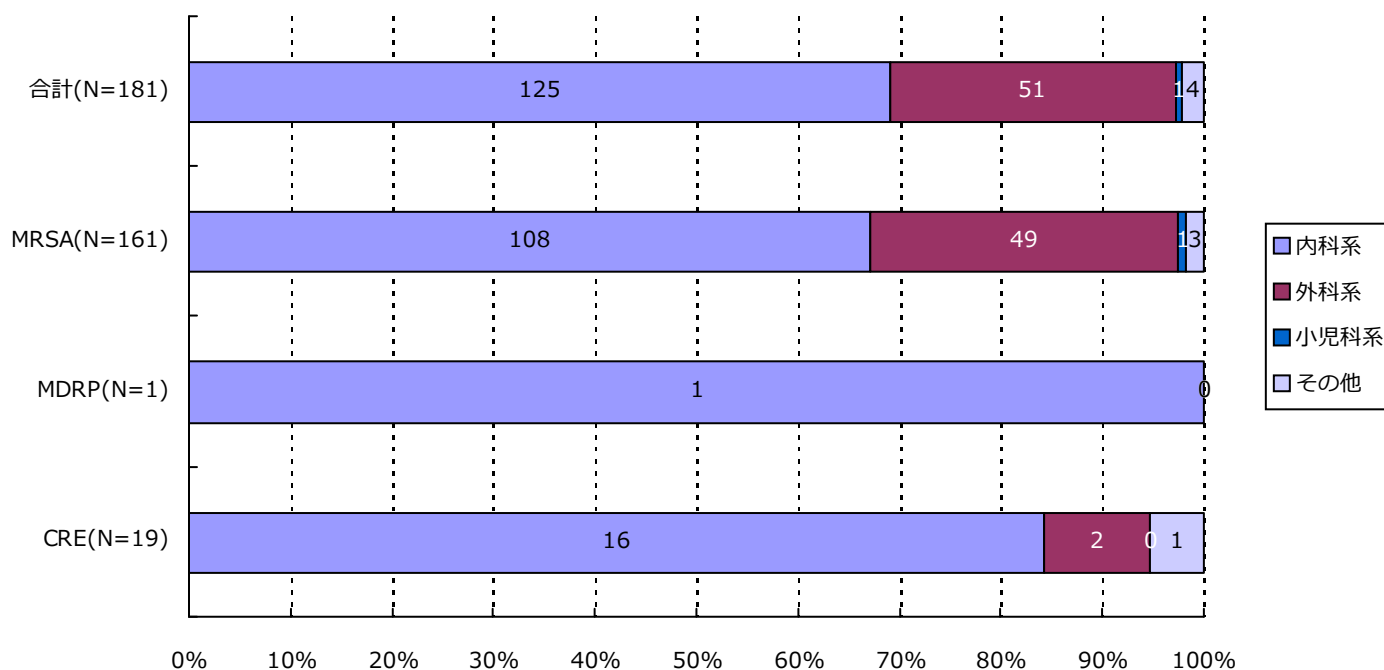
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	16(8.8%)	14(8.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
肺炎	81(44.8%)	76(47.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(26.3%)
肺炎以外	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	14(7.7%)	3(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	11(57.9%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	14(7.7%)	14(8.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	12(6.6%)	12(7.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	32(17.7%)	30(18.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(5.3%)
その他	12(6.6%)	12(7.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	181	161	0	0	0	1	0	19

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	125(69.1%)	108(67.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	16(84.2%)
外科系	51(28.2%)	49(30.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
小児科系	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	4(2.2%)	3(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.3%)
合計	181	161	0	0	0	1	0	19

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

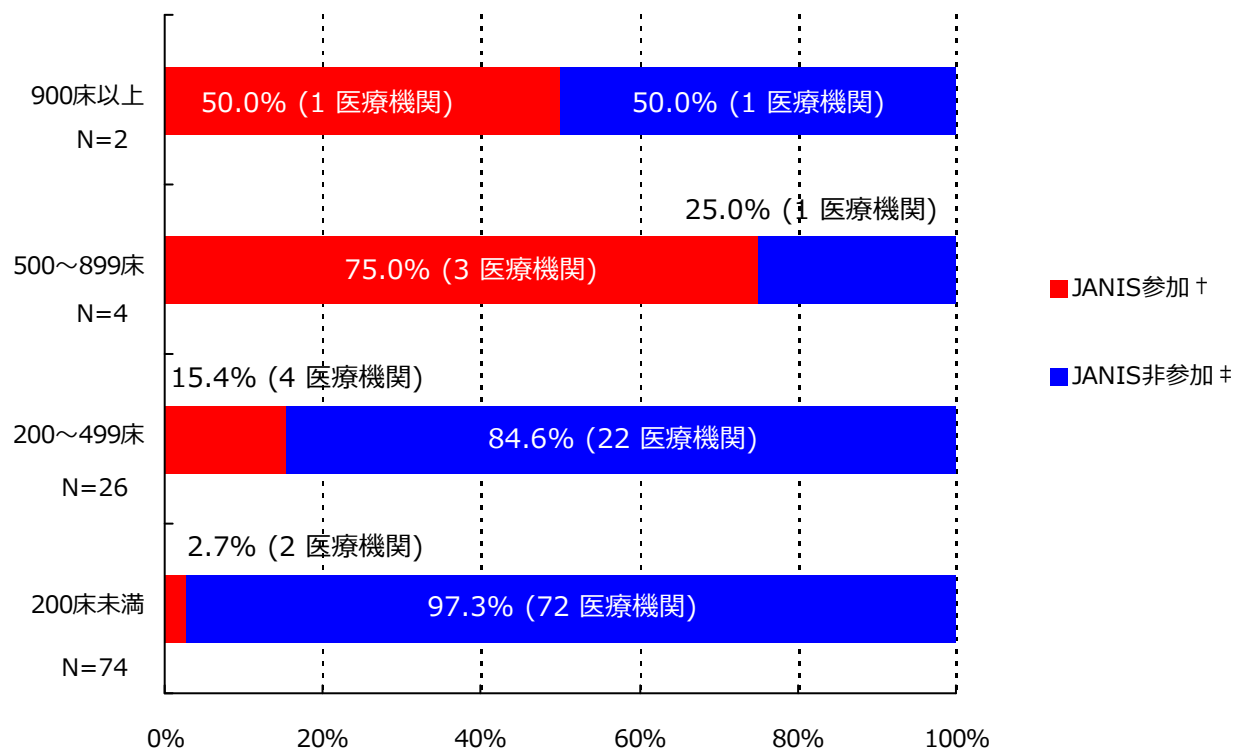
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(10医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50%)
500～899床	4	3 (75%)
200～499床	26	4 (15.4%)
200床未満	74	2 (2.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	106	10 (9.4%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(栃木県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	10	104,724	8	241	2.30%	0.00 2.19 9.76 H -----
2021年	9	73,438	7	182	2.48%	0.00 1.94 8.68 H -----
2022年	10	93,545	4	246	2.63%	0.00 2.37 12.94 H -----

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	9	73,438	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.07 -----
2022年	10	93,545	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.08 -----

(栃木県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	10	104,724	0	11	0.11%	0.00 0.00 1.25
2021年	9	73,438	0	6	0.08%	0.00 0.00 0.35
2022年	10	93,545	0	21	0.22%	0.00 0.00 2.90

(栃木県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

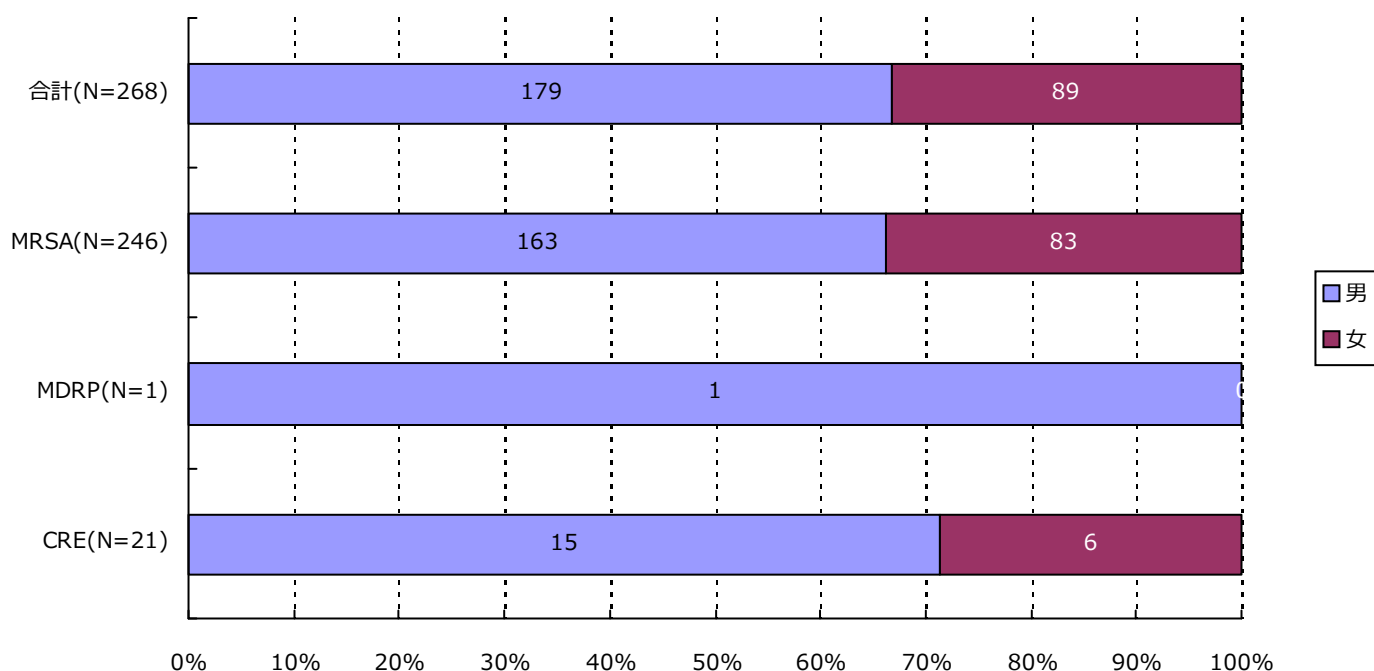
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	179(66.8%)	163(66.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	15(71.4%)
女	89(33.2%)	83(33.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(28.6%)
合計	268	246	0	0	0	1	0	21

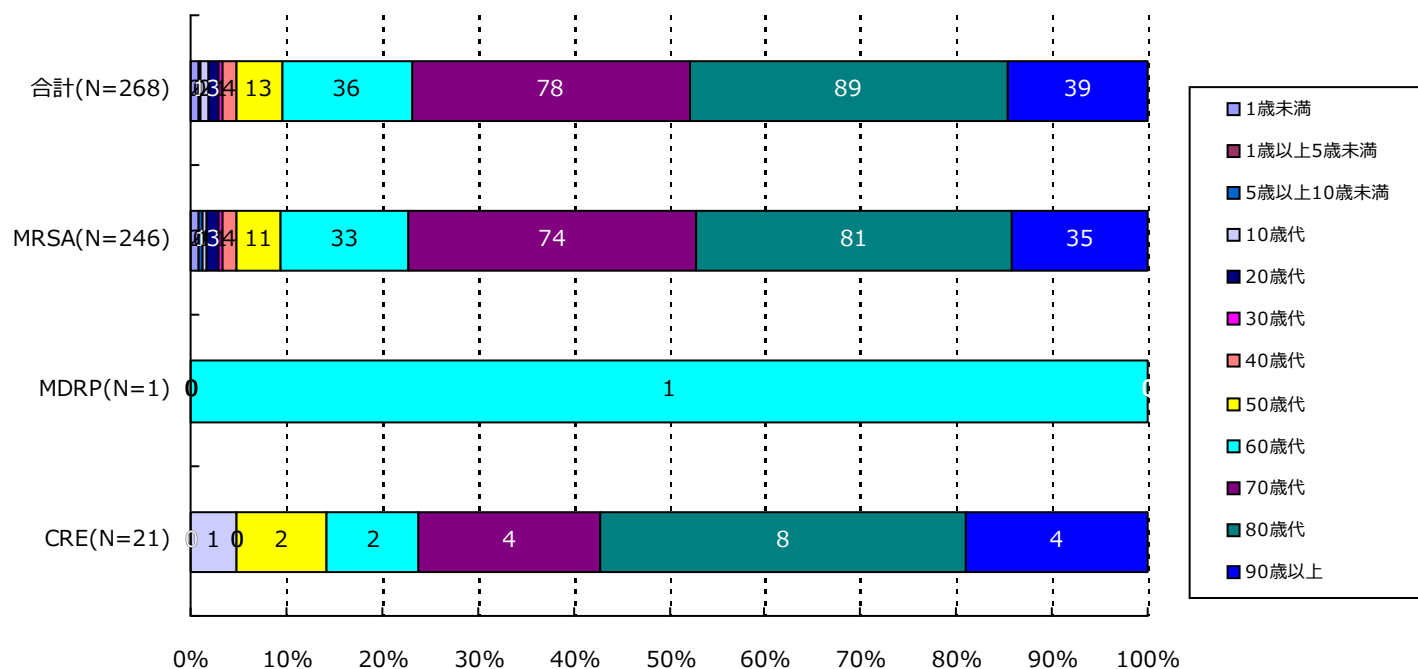
(栃木県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

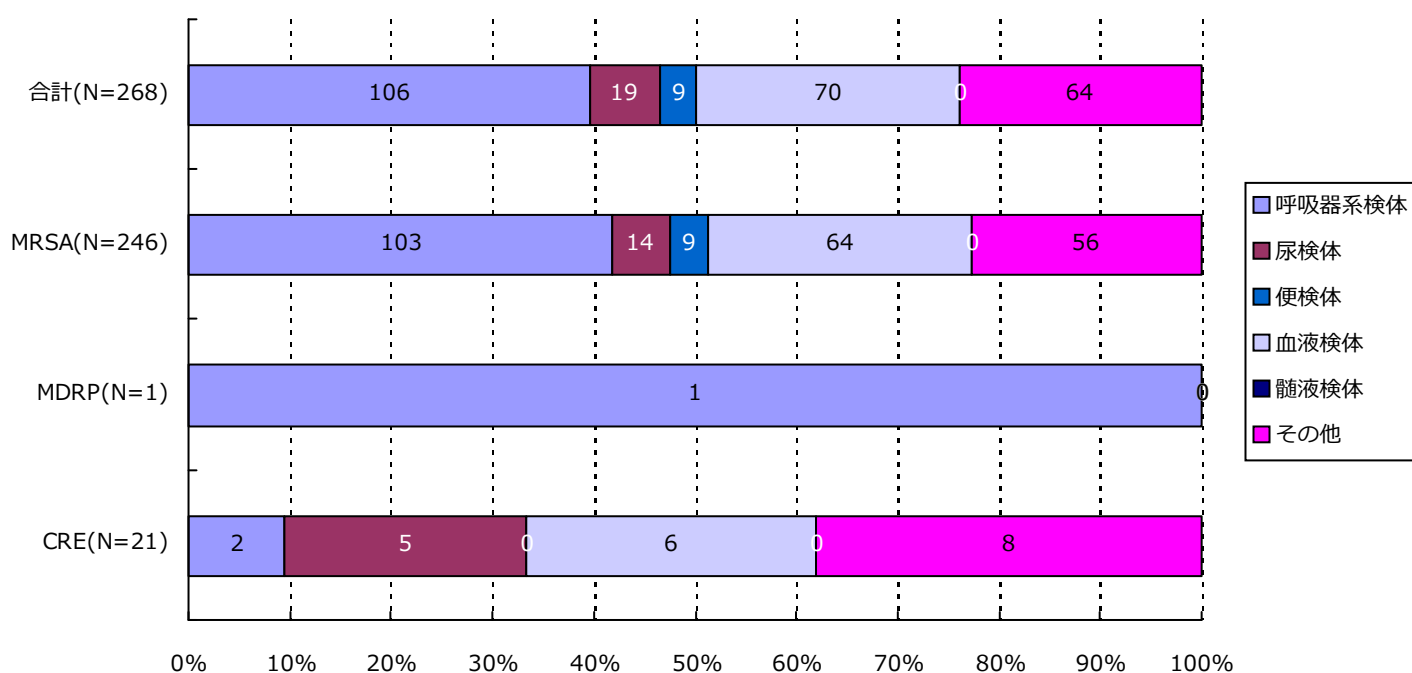


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(0.7%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.7%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.8%)
20歳代	3(1.1%)	3(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	4(1.5%)	4(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	13(4.9%)	11(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(9.5%)
60歳代	36(13.4%)	33(13.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	2(9.5%)
70歳代	78(29.1%)	74(30.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(19.0%)
80歳代	89(33.2%)	81(32.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	8(38.1%)
90歳以上	39(14.6%)	35(14.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(19.0%)
合計	268	246	0	0	0	1	0	21

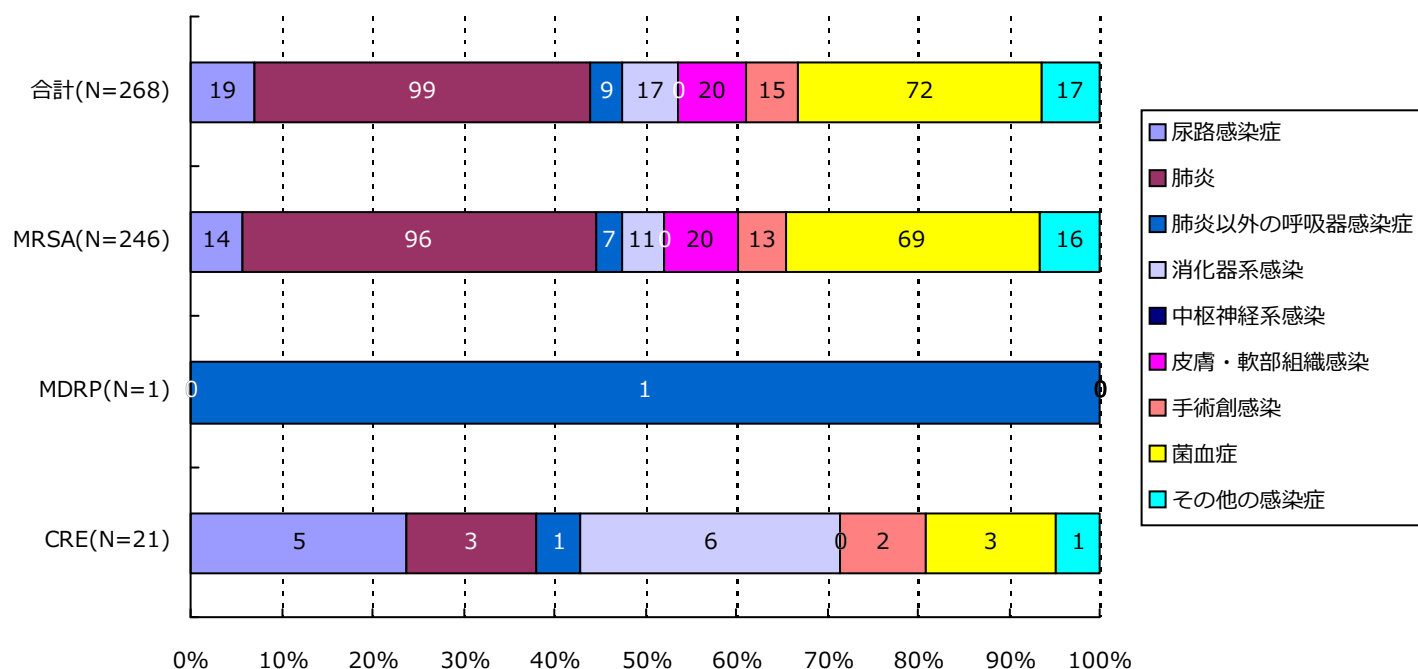
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	106(39.6%)	103(41.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	2(9.5%)
尿検体	19(7.1%)	14(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(23.8%)
便検体	9(3.4%)	9(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	70(26.1%)	64(26.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(28.6%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	64(23.9%)	56(22.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	8(38.1%)
合計	268	246	0	0	0	1	0	21

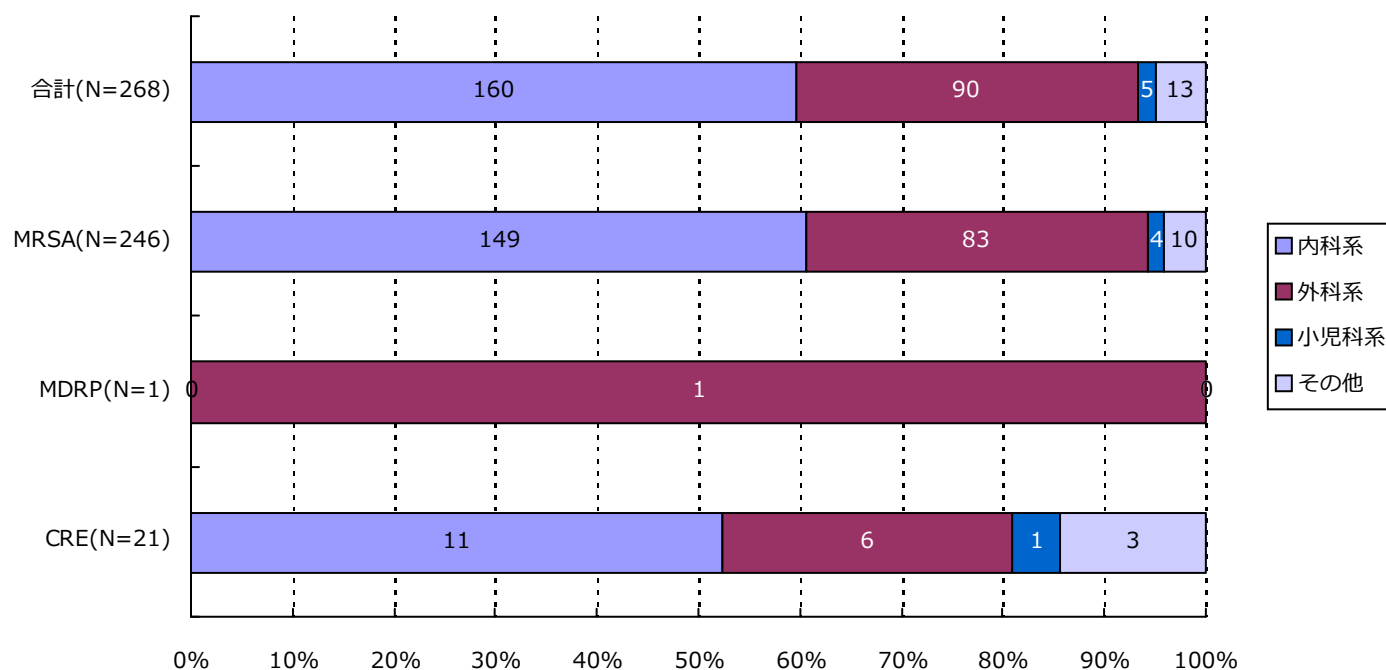
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	19(7.1%)	14(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(23.8%)
肺炎	99(36.9%)	96(39.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(14.3%)
肺炎以外	9(3.4%)	7(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(4.8%)
消化器系	17(6.3%)	11(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(28.6%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	20(7.5%)	20(8.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	15(5.6%)	13(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(9.5%)
菌血症	72(26.9%)	69(28.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(14.3%)
その他	17(6.3%)	16(6.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.8%)
合計	268	246	0	0	0	1	0	21

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	160(59.7%)	149(60.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	11(52.4%)
外科系	90(33.6%)	83(33.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	6(28.6%)
小児科系	5(1.9%)	4(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.8%)
その他	13(4.9%)	10(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(14.3%)
合計	268	246	0	0	0	1	0	21

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

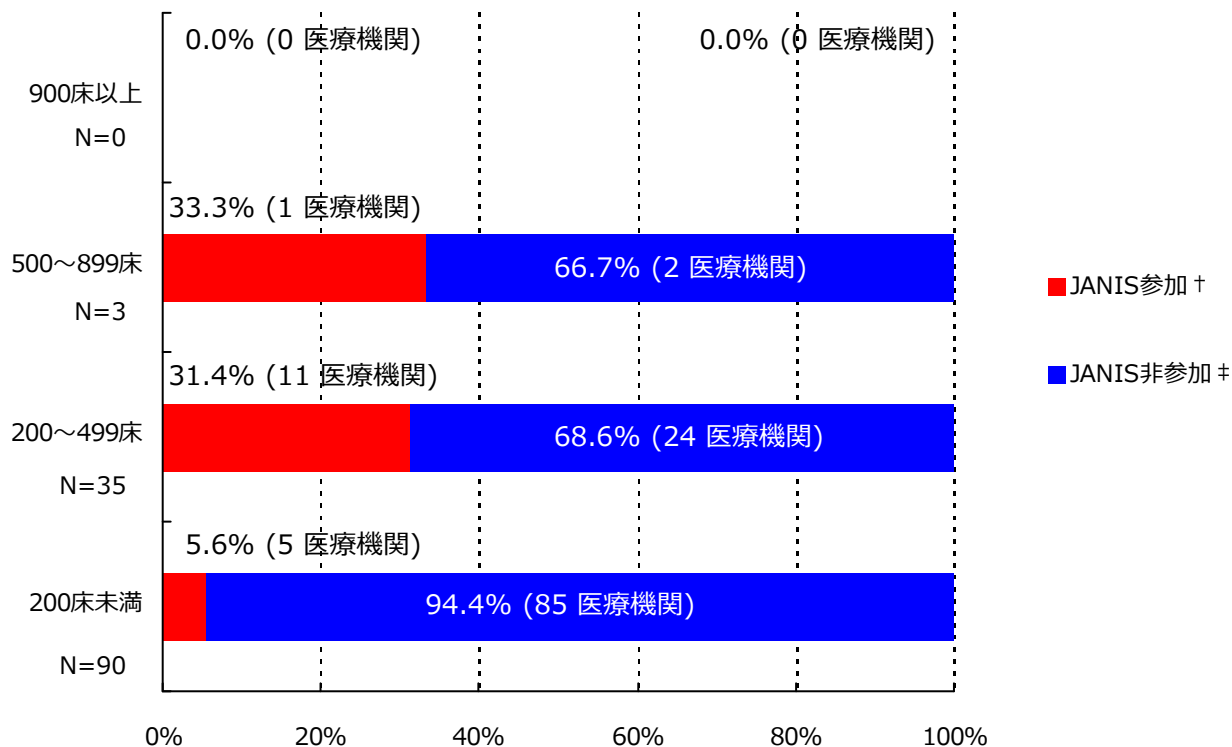
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(17医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	1 (33.3%)
200～499床	35	11 (31.4%)
200床未満	90	5 (5.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	128	17 (13.3%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(群馬県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	17	103,519	4	232	2.24%	0.00 1.73 14.93 H
2021年	17	105,505	5	220	2.09%	0.00 2.01 7.58 H
2022年	17	107,168	8	229	2.14%	0.00 1.73 6.08 H

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	17	103,519	0	12	0.12%	0.00 0.00 59.70
2021年	17	105,505	0	9	0.09%	0.00 0.00 37.88
2022年	17	107,168	0	8	0.07%	0.00 0.00 7.58 H

(群馬県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	17	103,519	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.08
2021年	17	105,505	0	3	0.03%	0.00 0.00 0.35
2022年	17	107,168	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.07

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	17	103,519	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.44
2021年	17	105,505	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.20
2022年	17	107,168	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.19

(群馬県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

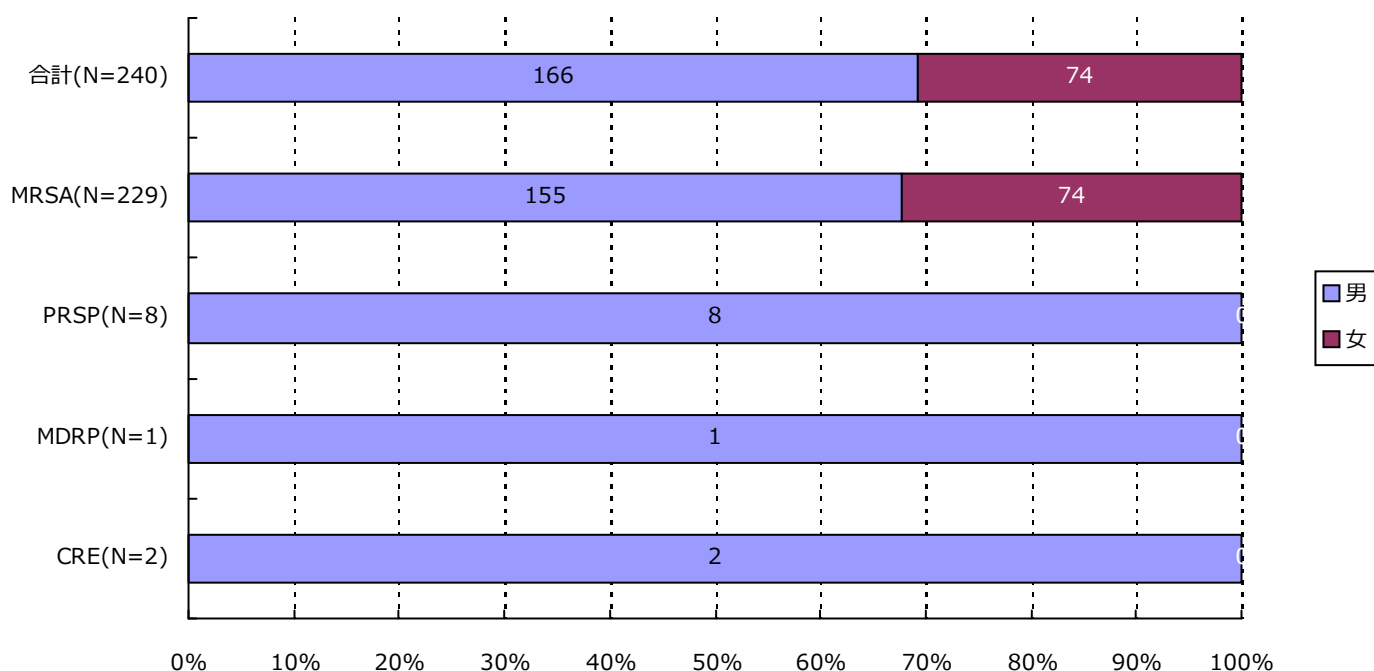
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	166 (69.2%)	155 (67.7%)	0 (-)	0 (-)	8 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	2 (100.0%)
女	74 (30.8%)	74 (32.3%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	240	229	0	0	8	1	0	2

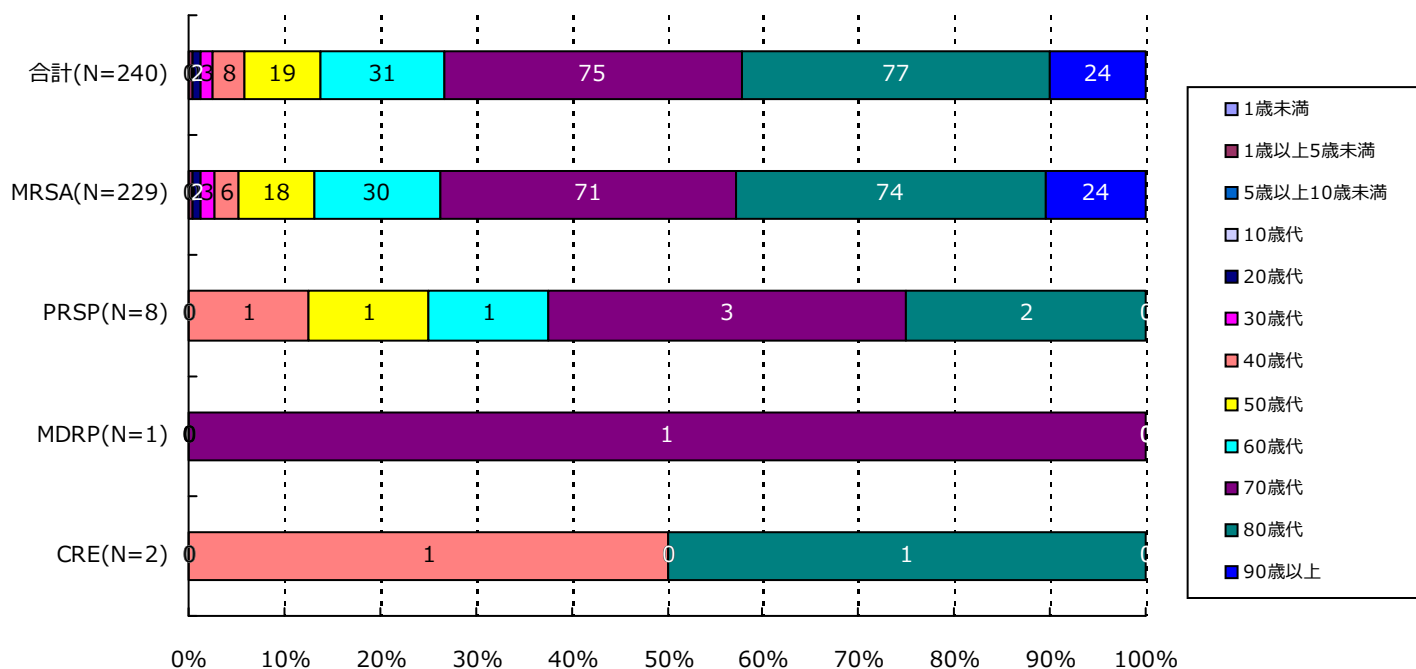
(群馬県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

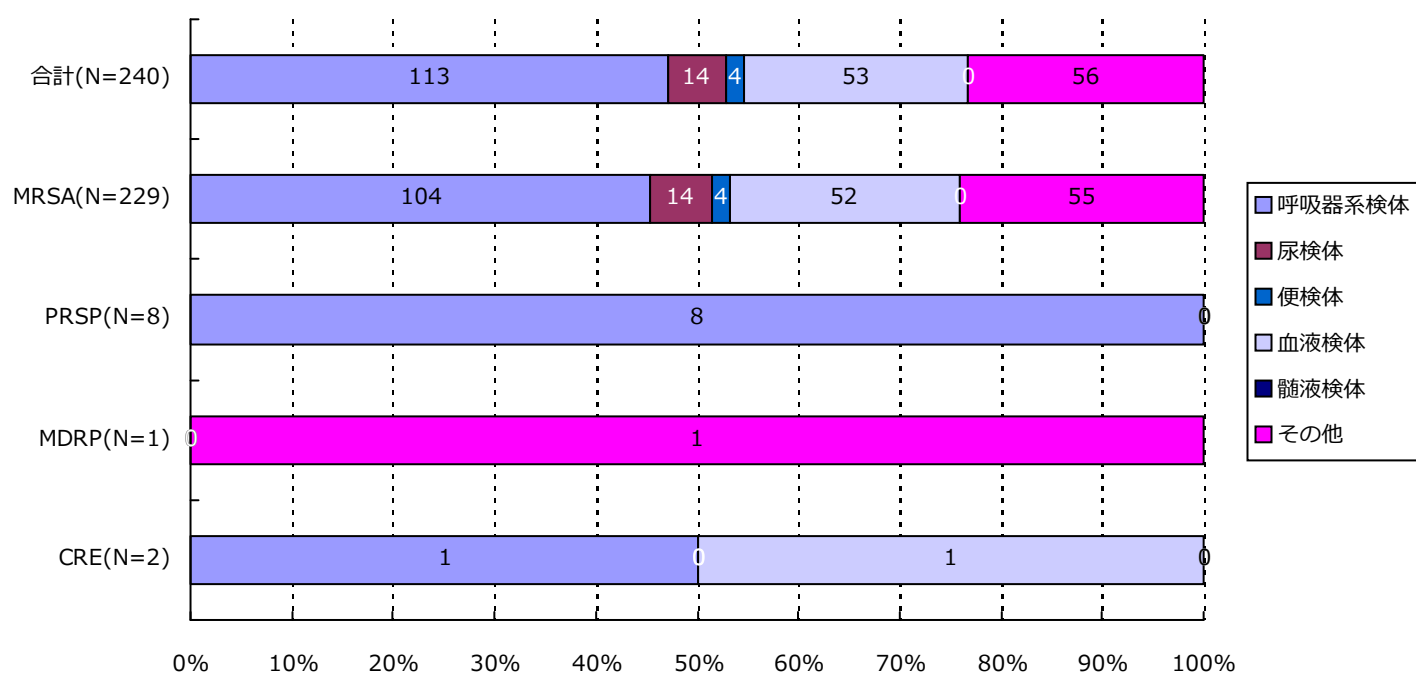


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(0.8%)	2(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	3(1.3%)	3(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	8(3.3%)	6(2.6%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
50歳代	19(7.9%)	18(7.9%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	31(12.9%)	30(13.1%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	75(31.3%)	71(31.0%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
80歳代	77(32.1%)	74(32.3%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
90歳以上	24(10.0%)	24(10.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	240	229	0	0	8	1	0	2

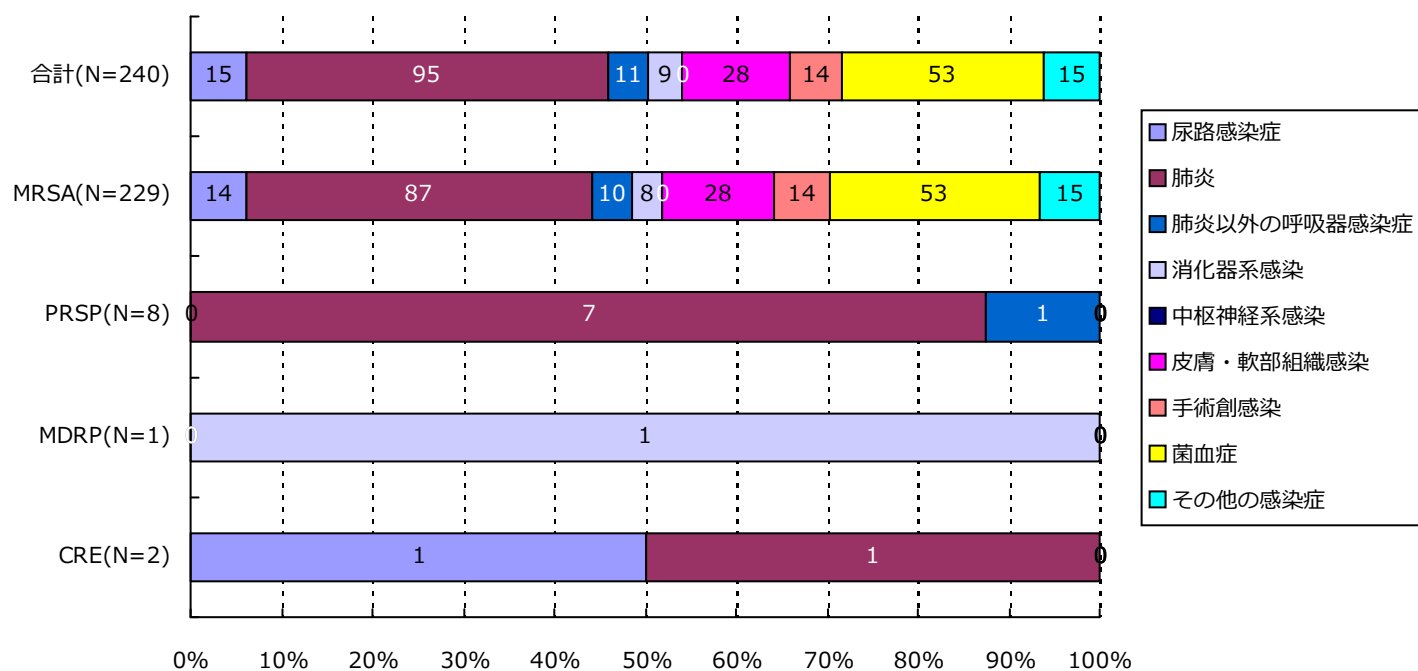
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	113(47.1%)	104(45.4%)	0(-)	0(-)	8(100.0%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
尿検体	14(5.8%)	14(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	4(1.7%)	4(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	53(22.1%)	52(22.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	56(23.3%)	55(24.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
合計	240	229	0	0	8	1	0	2

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	15(6.3%)	14(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
肺炎	95(39.6%)	87(38.0%)	0(-)	0(-)	7(87.5%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
肺炎以外	11(4.6%)	10(4.4%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	9(3.8%)	8(3.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	28(11.7%)	28(12.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	14(5.8%)	14(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	53(22.1%)	53(23.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	15(6.3%)	15(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	240	229	0	0	8	1	0	2

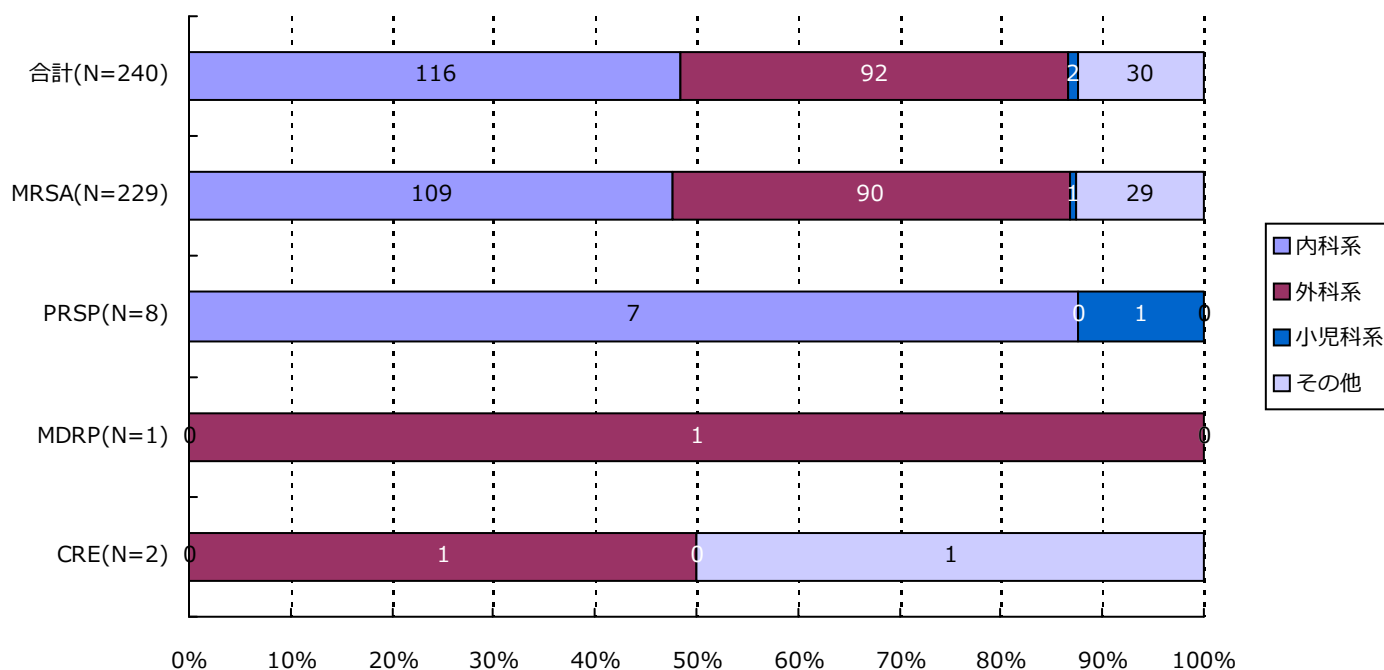
(群馬県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	116(48.3%)	109(47.6%)	0(-)	0(-)	7(87.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	92(38.3%)	90(39.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
小児科系	2(0.8%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	30(12.5%)	29(12.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
合計	240	229	0	0	8	1	0	2

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

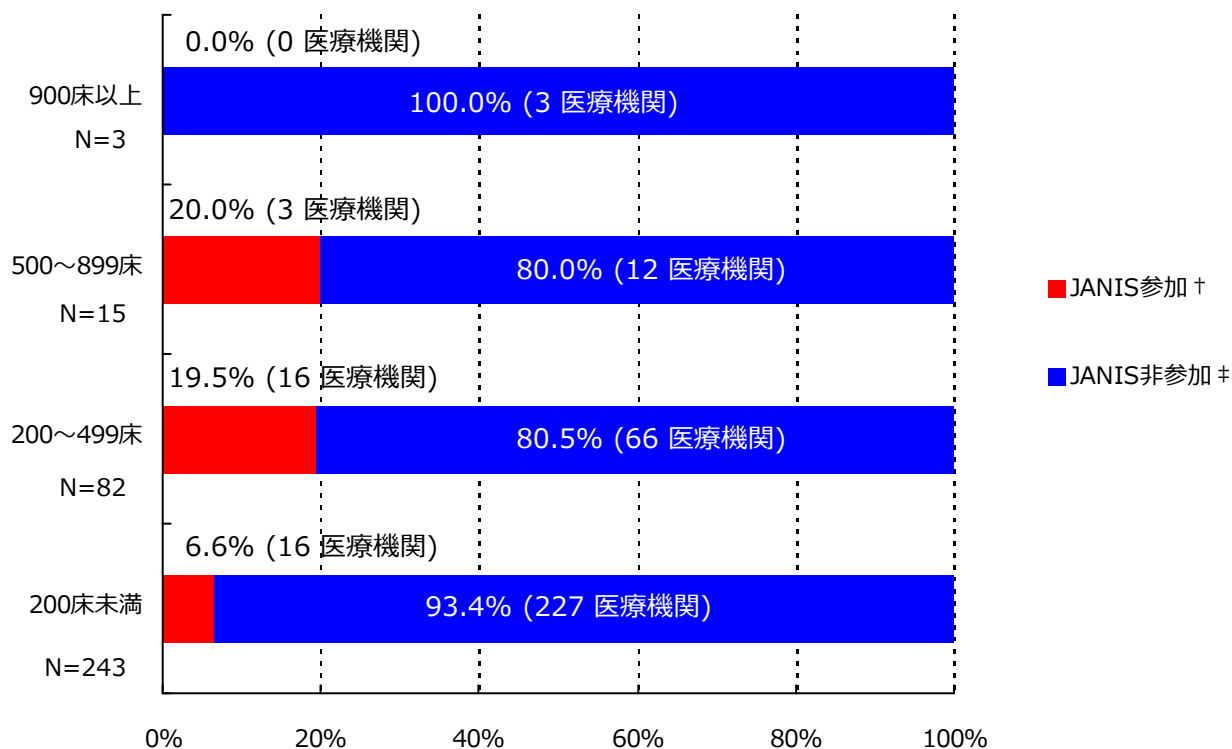
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(35医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	3	0 (0%)
500～899床	15	3 (20%)
200～499床	82	16 (19.5%)
200床未満	243	16 (6.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	343	35 (10.2%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(埼玉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	34	190,320	5	473	2.49%	0.00 2.61 29.13
2021年	33	191,121	5	474	2.48%	0.00 2.86 10.14
2022年	35	190,476	4	472	2.48%	0.00 2.48 25.15

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	34	190,320	0	13	0.07%	0.00 0.00 0.73
2021年	33	191,121	0	13	0.07%	0.00 0.00 0.68
2022年	35	190,476	0	13	0.07%	0.00 0.00 0.80

(埼玉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	33	191,121	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.09
2022年	35	190,476	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.08

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	34	190,320	0	19	0.10%	0.00 0.00 1.23 H
2021年	33	191,121	0	17	0.09%	0.00 0.00 1.19
2022年	35	190,476	0	9	0.05%	0.00 0.00 0.72

(埼玉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

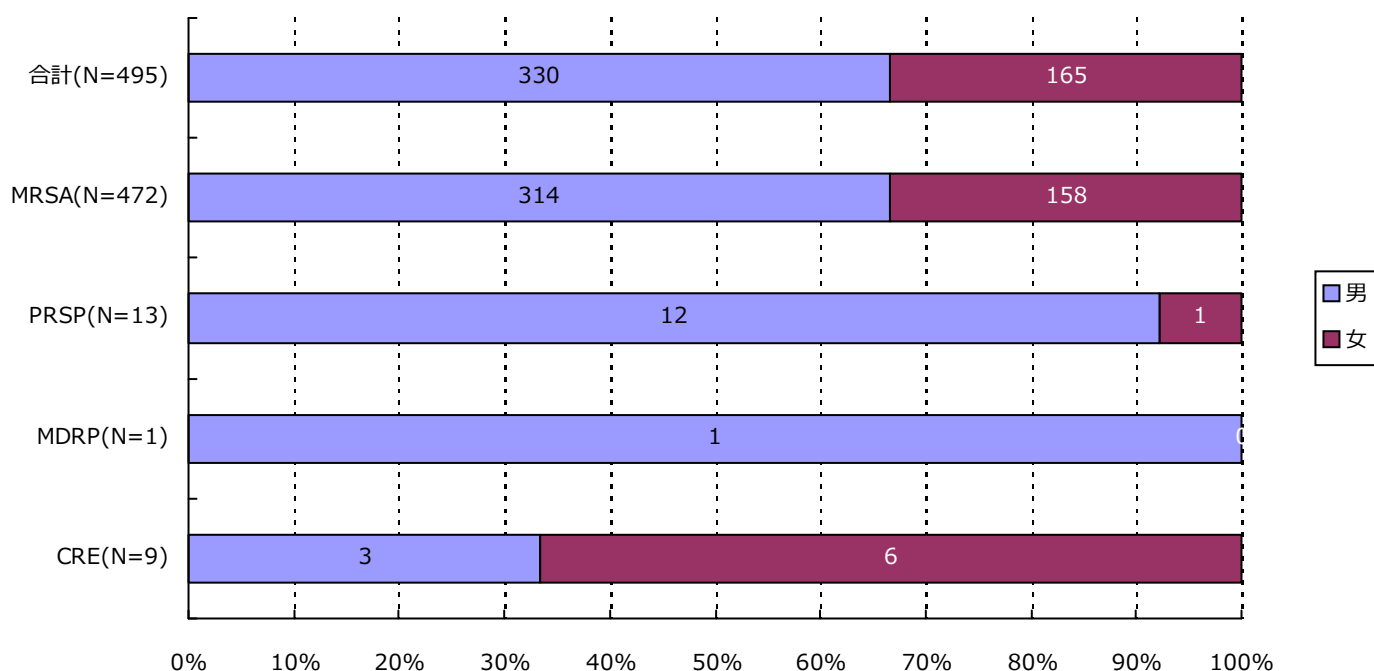
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	330 (66.7%)	314 (66.5%)	0 (-)	0 (-)	12 (92.3%)	1 (100.0%)	0 (-)	3 (33.3%)
女	165 (33.3%)	158 (33.5%)	0 (-)	0 (-)	1 (7.7%)	0 (-)	0 (-)	6 (66.7%)
合計	495	472	0	0	13	1	0	9

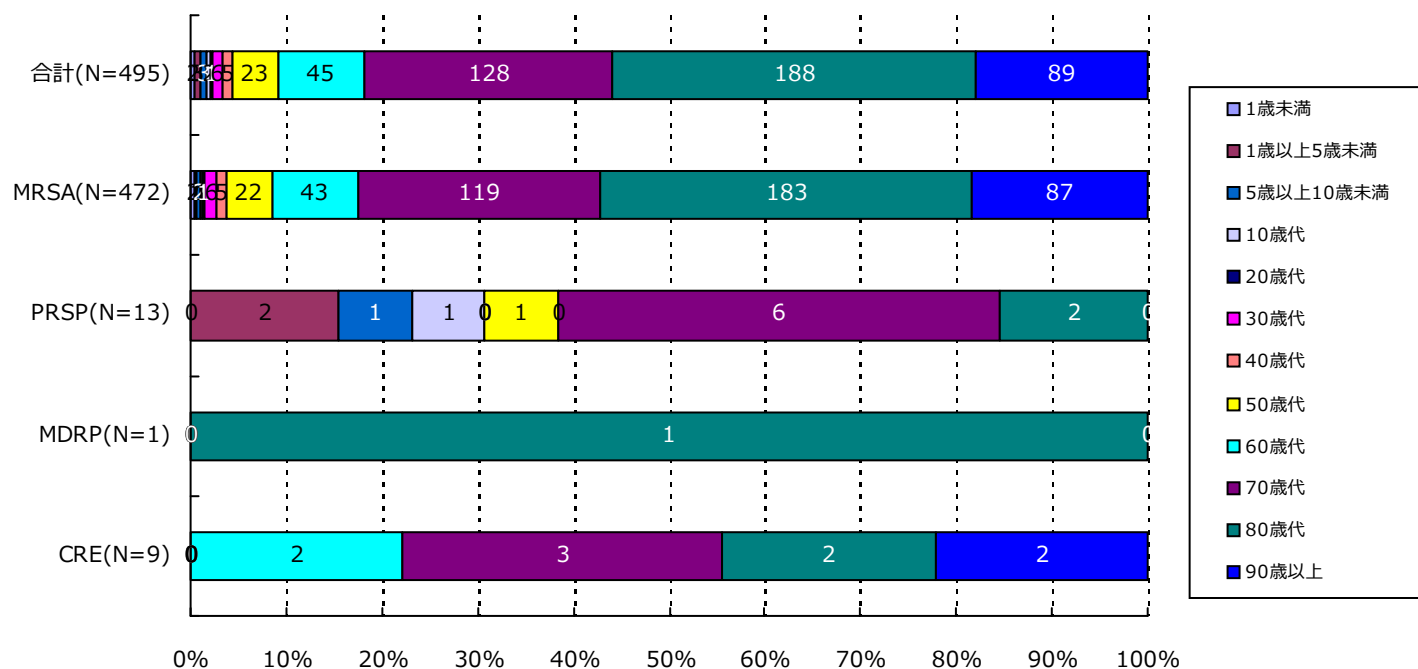
(埼玉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

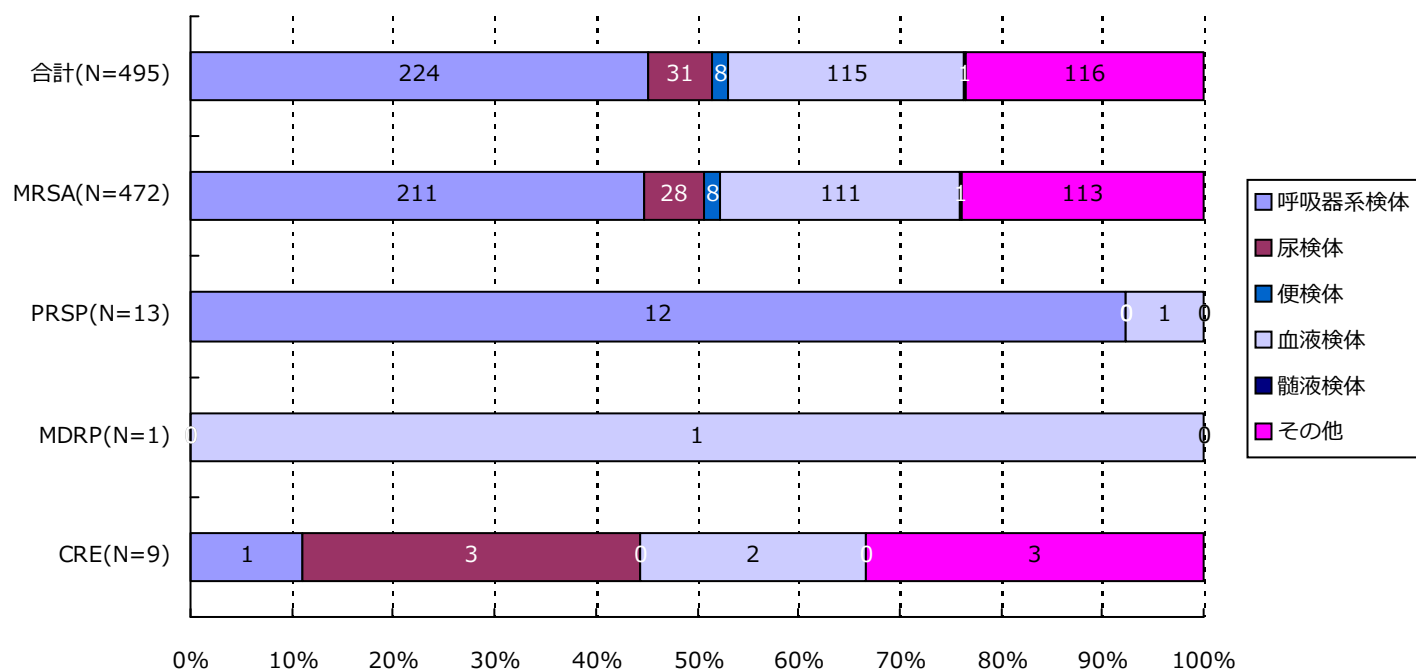


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(0.4%)	2(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	3(0.6%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	2(15.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(0.6%)	2(0.4%)	0(-)	0(-)	1(7.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.4%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	1(7.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	6(1.2%)	6(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	5(1.0%)	5(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	23(4.6%)	22(4.7%)	0(-)	0(-)	1(7.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	45(9.1%)	43(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(22.2%)
70歳代	128(25.9%)	119(25.2%)	0(-)	0(-)	6(46.2%)	0(-)	0(-)	3(33.3%)
80歳代	188(38.0%)	183(38.8%)	0(-)	0(-)	2(15.4%)	1(100.0%)	0(-)	2(22.2%)
90歳以上	89(18.0%)	87(18.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(22.2%)
合計	495	472	0	0	13	1	0	9

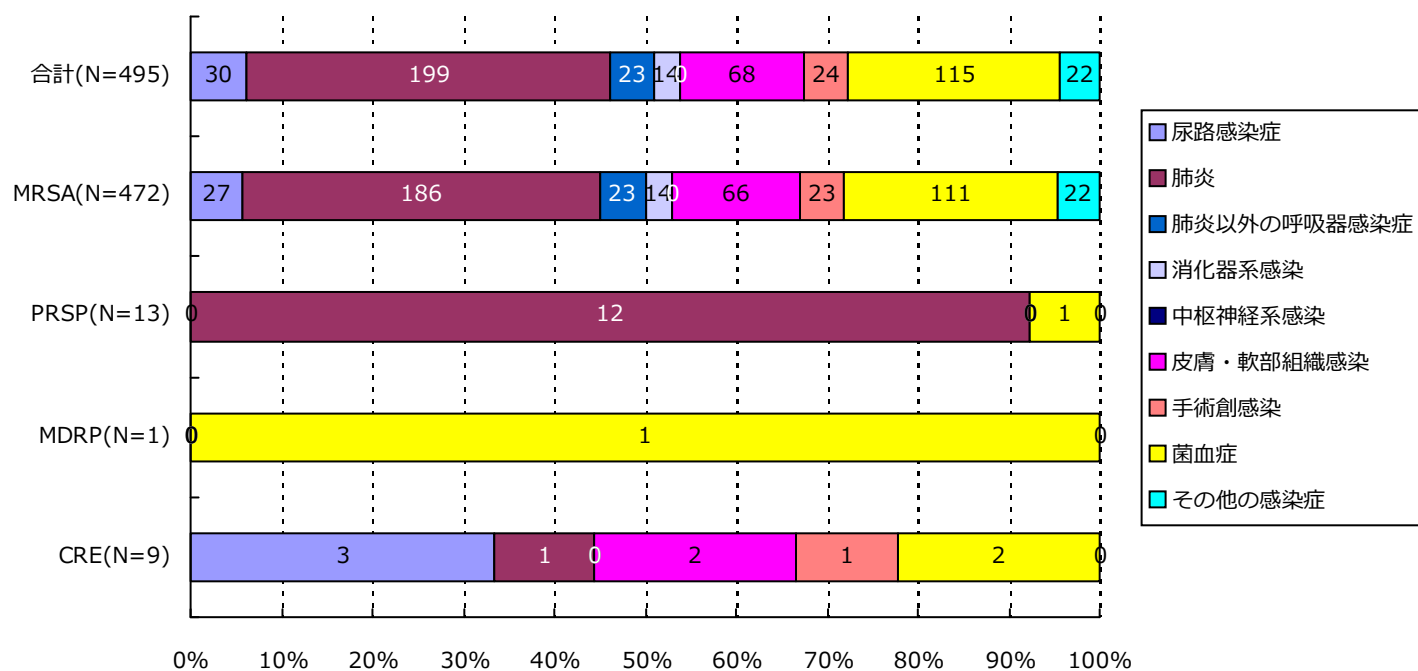
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	224(45.3%)	211(44.7%)	0(-)	0(-)	12(92.3%)	0(-)	0(-)	1(11.1%)
尿検体	31(6.3%)	28(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(33.3%)
便検体	8(1.6%)	8(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	115(23.2%)	111(23.5%)	0(-)	0(-)	1(7.7%)	1(100.0%)	0(-)	2(22.2%)
髄液検体	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	116(23.4%)	113(23.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(33.3%)
合計	495	472	0	0	13	1	0	9

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	30(6.1%)	27(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(33.3%)
肺炎	199(40.2%)	186(39.4%)	0(-)	0(-)	12(92.3%)	0(-)	0(-)	1(11.1%)
肺炎以外	23(4.6%)	23(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	14(2.8%)	14(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	68(13.7%)	66(14.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(22.2%)
手術創	24(4.8%)	23(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)
菌血症	115(23.2%)	111(23.5%)	0(-)	0(-)	1(7.7%)	1(100.0%)	0(-)	2(22.2%)
その他	22(4.4%)	22(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	495	472	0	0	13	1	0	9

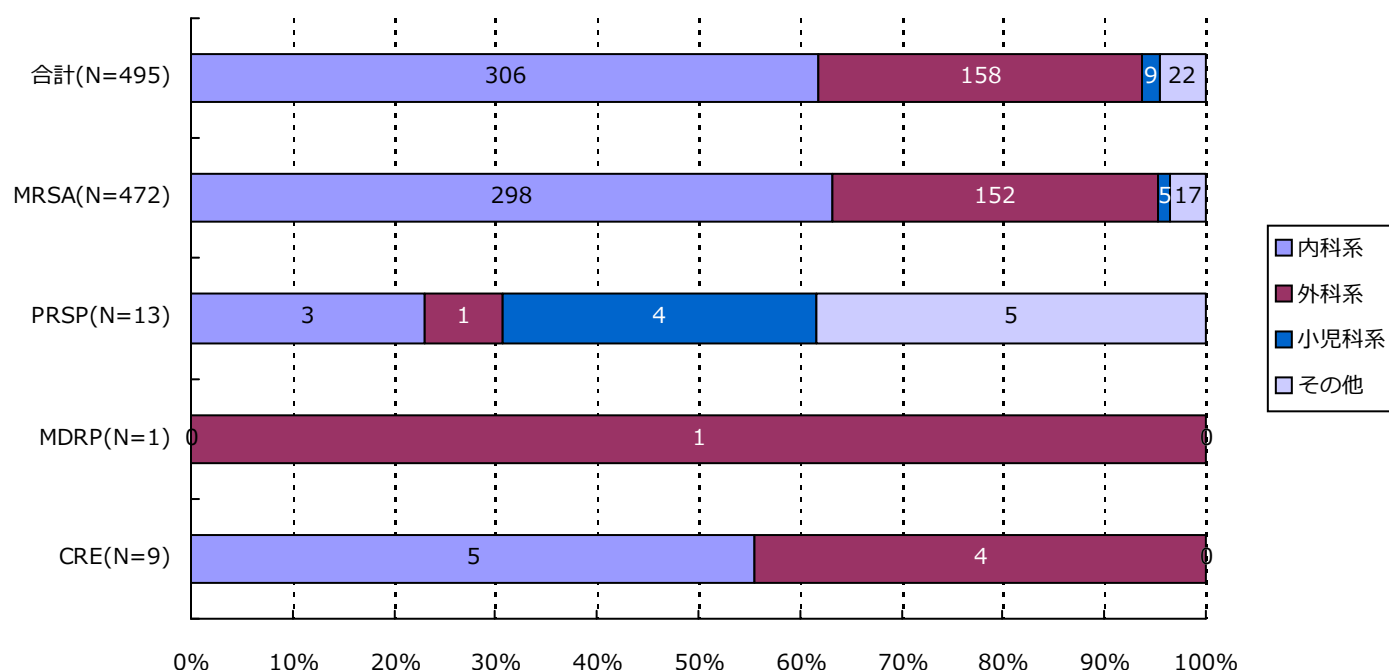
(埼玉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	306(61.8%)	298(63.1%)	0(-)	0(-)	3(23.1%)	0(-)	0(-)	5(55.6%)
外科系	158(31.9%)	152(32.2%)	0(-)	0(-)	1(7.7%)	1(100.0%)	0(-)	4(44.4%)
小児科系	9(1.8%)	5(1.1%)	0(-)	0(-)	4(30.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	22(4.4%)	17(3.6%)	0(-)	0(-)	5(38.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	495	472	0	0	13	1	0	9

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

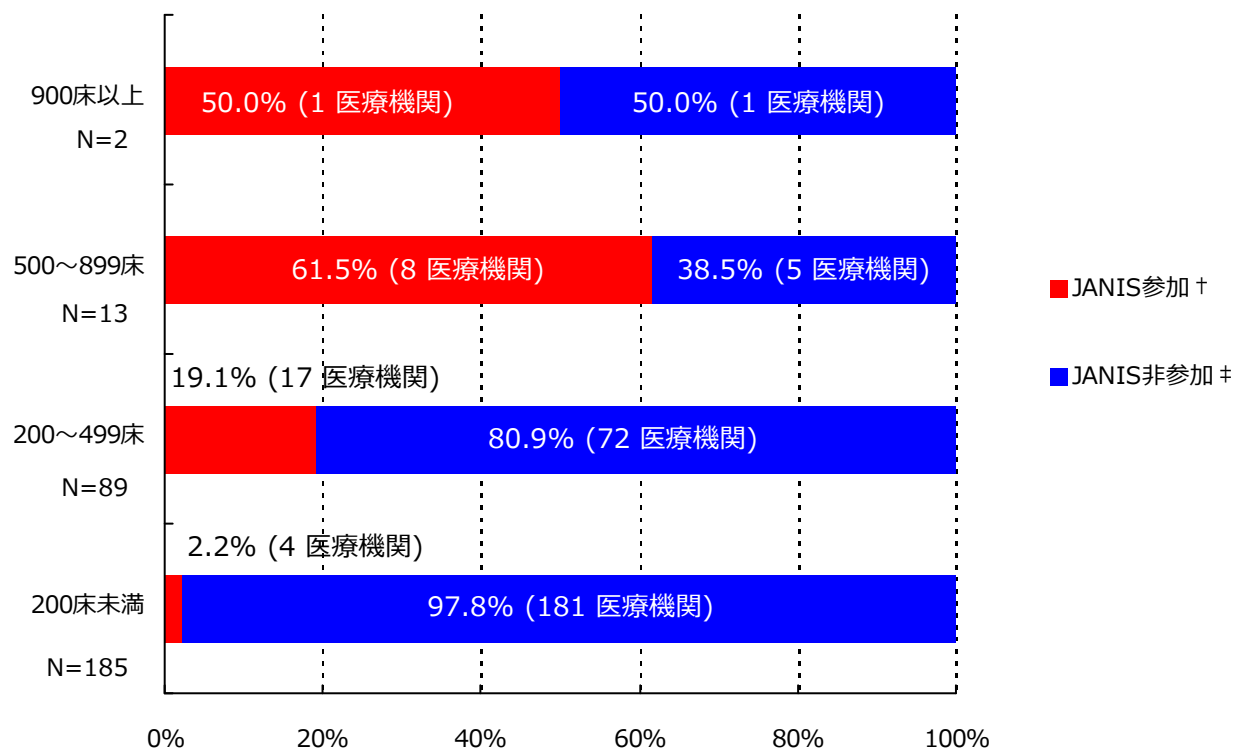
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

(千葉県)
公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(30医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50%)
500～899床	13	8 (61.5%)
200～499床	89	17 (19.1%)
200床未満	185	4 (2.2%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	289	30 (10.4%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(千葉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	33	226,781	30	830	3.66%	0.00 3.20 37.84 ■
2021年	31	218,502	11	597	2.73%	0.00 2.82 24.24 ■
2022年	30	216,557	15	568	2.62%	0.00 2.76 13.94 ■

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	33	226,781	0	5	0.02%	0.00 0.00 0.96
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	30	216,557	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.08

(千葉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	33	226,781	0	15	0.07%	0.00 0.00 0.49
2021年	31	218,502	0	23	0.11%	0.00 0.00 0.79
2022年	30	216,557	0	15	0.07%	0.00 0.00 0.50

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	33	226,781	0	3	0.01%	0.00 0.00 0.15
2021年	31	218,502	0	3	0.01%	0.00 0.00 0.20
2022年	30	216,557	0	3	0.01%	0.00 0.00 0.16

(千葉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	33	226,781	0	25	0.11%	0.00 0.00 0.83 -----
2021年	31	218,502	0	20	0.09%	0.00 0.00 0.62 -----
2022年	30	216,557	0	28	0.13%	0.00 0.00 1.55 -----

(千葉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

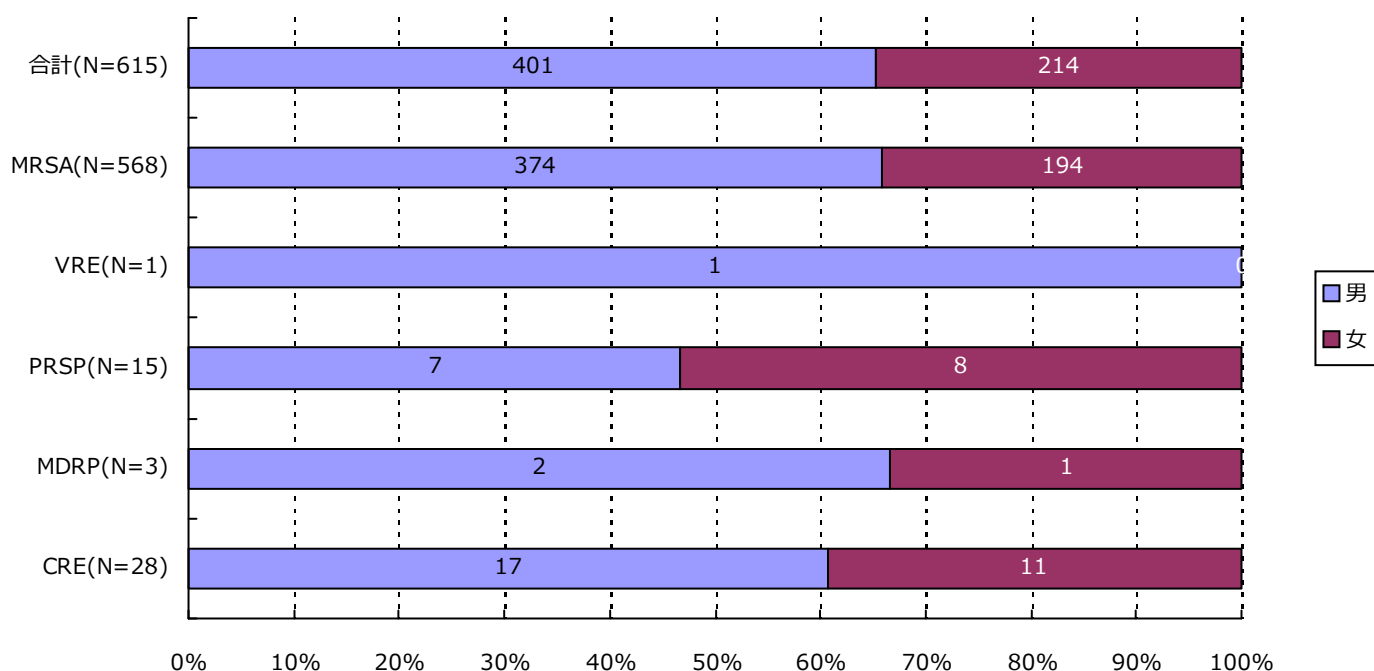
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	401(65.2%)	374(65.8%)	0(-)	1(100.0%)	7(46.7%)	2(66.7%)	0(-)	17(60.7%)
女	214(34.8%)	194(34.2%)	0(-)	0(-)	8(53.3%)	1(33.3%)	0(-)	11(39.3%)
合計	615	568	0	1	15	3	0	28

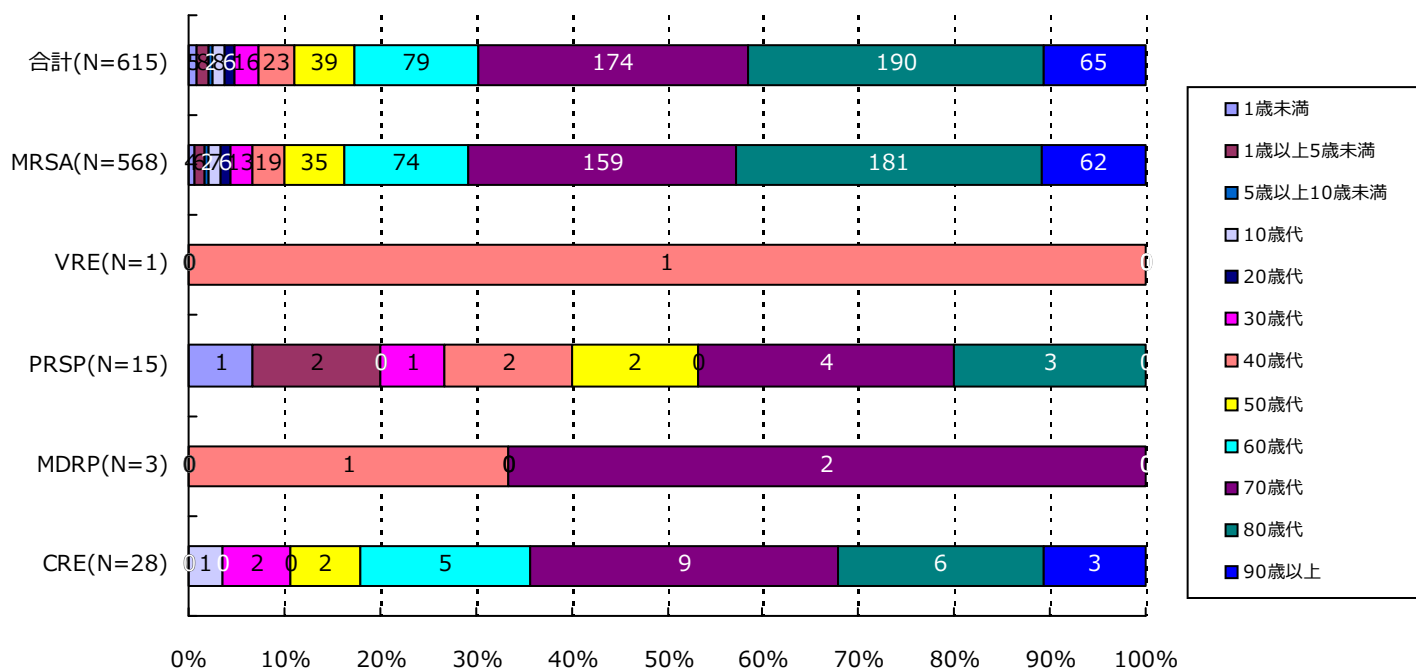
(千葉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	5(0.8%)	4(0.7%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	8(1.3%)	6(1.1%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(0.3%)	2(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	8(1.3%)	7(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.6%)
20歳代	6(1.0%)	6(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	16(2.6%)	13(2.3%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	2(7.1%)
40歳代	23(3.7%)	19(3.3%)	0(-)	1(100.0%)	2(13.3%)	1(33.3%)	0(-)	0(-)
50歳代	39(6.3%)	35(6.2%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)	0(-)	0(-)	2(7.1%)
60歳代	79(12.8%)	74(13.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(17.9%)
70歳代	174(28.3%)	159(28.0%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)	2(66.7%)	0(-)	9(32.1%)
80歳代	190(30.9%)	181(31.9%)	0(-)	0(-)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	6(21.4%)
90歳以上	65(10.6%)	62(10.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(10.7%)
合計	615	568	0	1	15	3	0	28

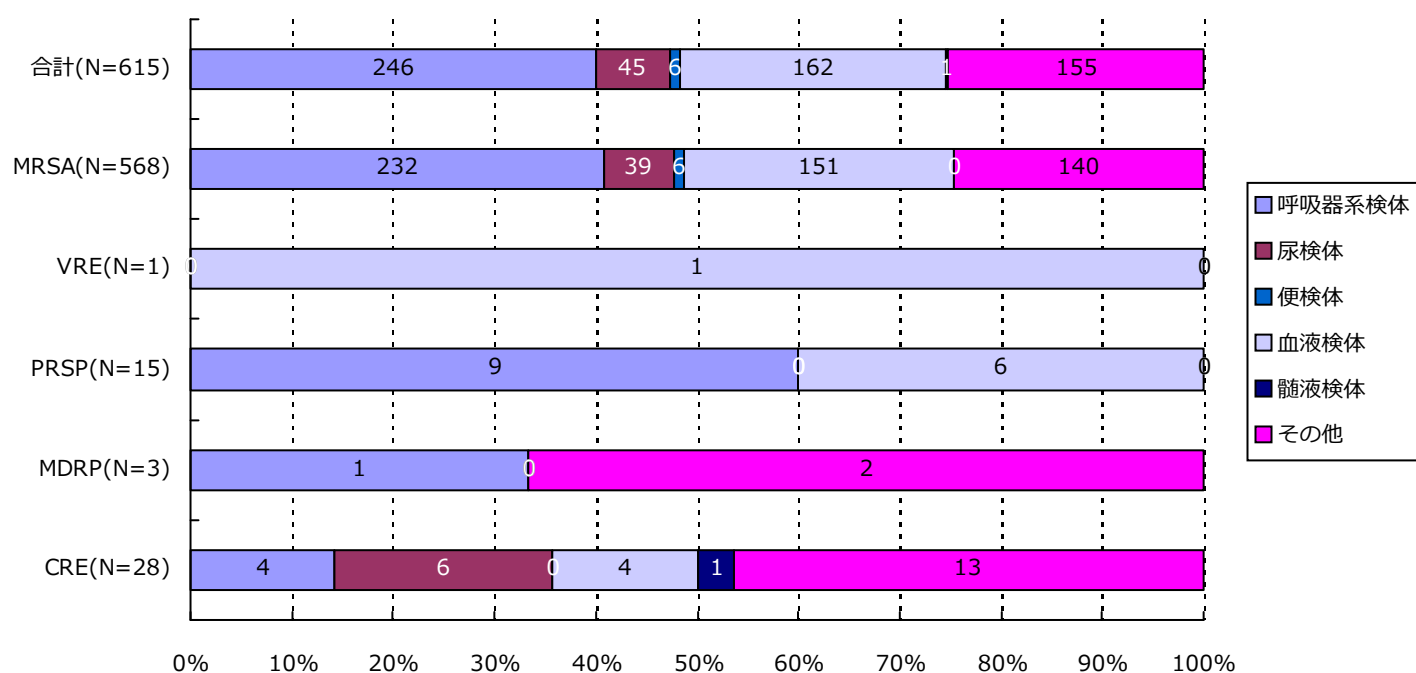
(千葉県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



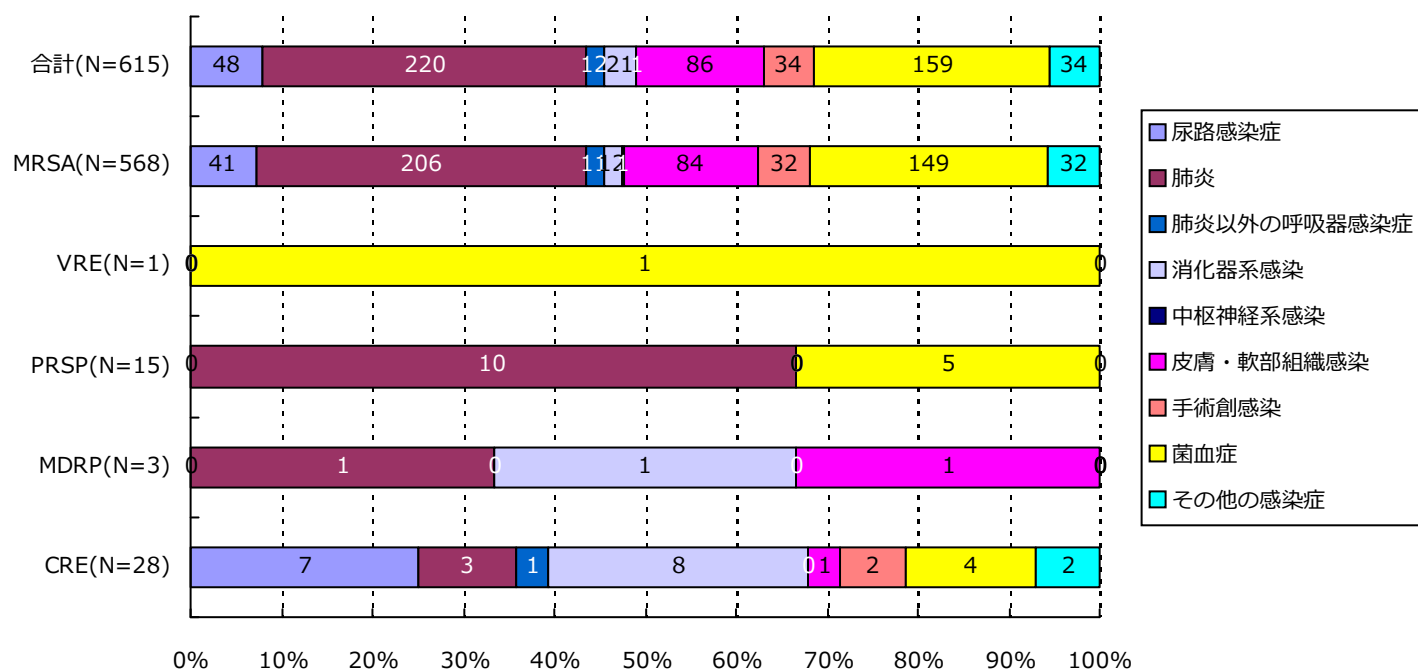
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	246(40.0%)	232(40.8%)	0(-)	0(-)	9(60.0%)	1(33.3%)	0(-)	4(14.3%)
尿検体	45(7.3%)	39(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(21.4%)
便検体	6(1.0%)	6(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	162(26.3%)	151(26.6%)	0(-)	1(100.0%)	6(40.0%)	0(-)	0(-)	4(14.3%)
髄液検体	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.6%)
その他	155(25.2%)	140(24.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	0(-)	13(46.4%)
合計	615	568	0	1	15	3	0	28

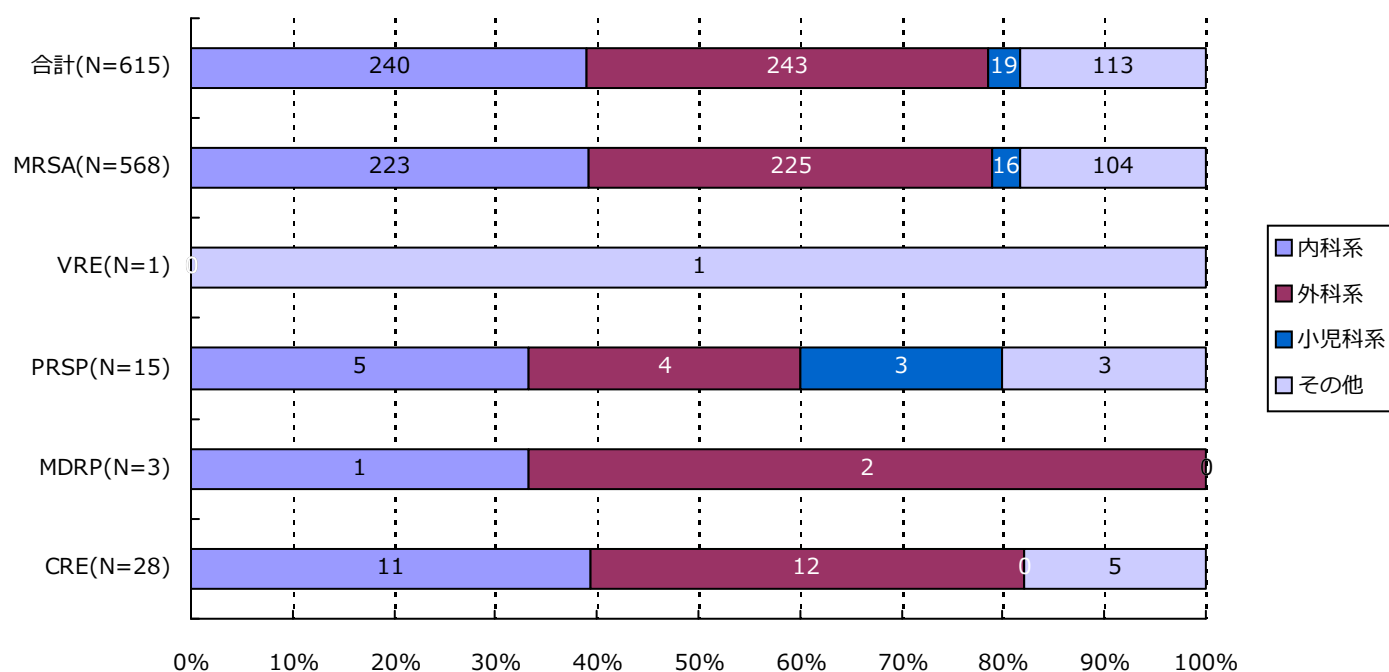
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	48(7.8%)	41(7.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	7(25.0%)
肺炎	220(35.8%)	206(36.3%)	0(-)	0(-)	10(66.7%)	1(33.3%)	0(-)	3(10.7%)
肺炎以外	12(2.0%)	11(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.6%)
消化器系	21(3.4%)	12(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	8(28.6%)
中枢神経系	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	86(14.0%)	84(14.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	1(3.6%)
手術創	34(5.5%)	32(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(7.1%)
菌血症	159(25.9%)	149(26.2%)	0(-)	1(100.0%)	5(33.3%)	0(-)	0(-)	4(14.3%)
その他	34(5.5%)	32(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(7.1%)
合計	615	568	0	1	15	3	0	28

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	240(39.0%)	223(39.3%)	0(-)	0(-)	5(33.3%)	1(33.3%)	0(-)	11(39.3%)
外科系	243(39.5%)	225(39.6%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)	2(66.7%)	0(-)	12(42.9%)
小児科系	19(3.1%)	16(2.8%)	0(-)	0(-)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	113(18.4%)	104(18.3%)	0(-)	1(100.0%)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	5(17.9%)
合計	615	568	0	1	15	3	0	28

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

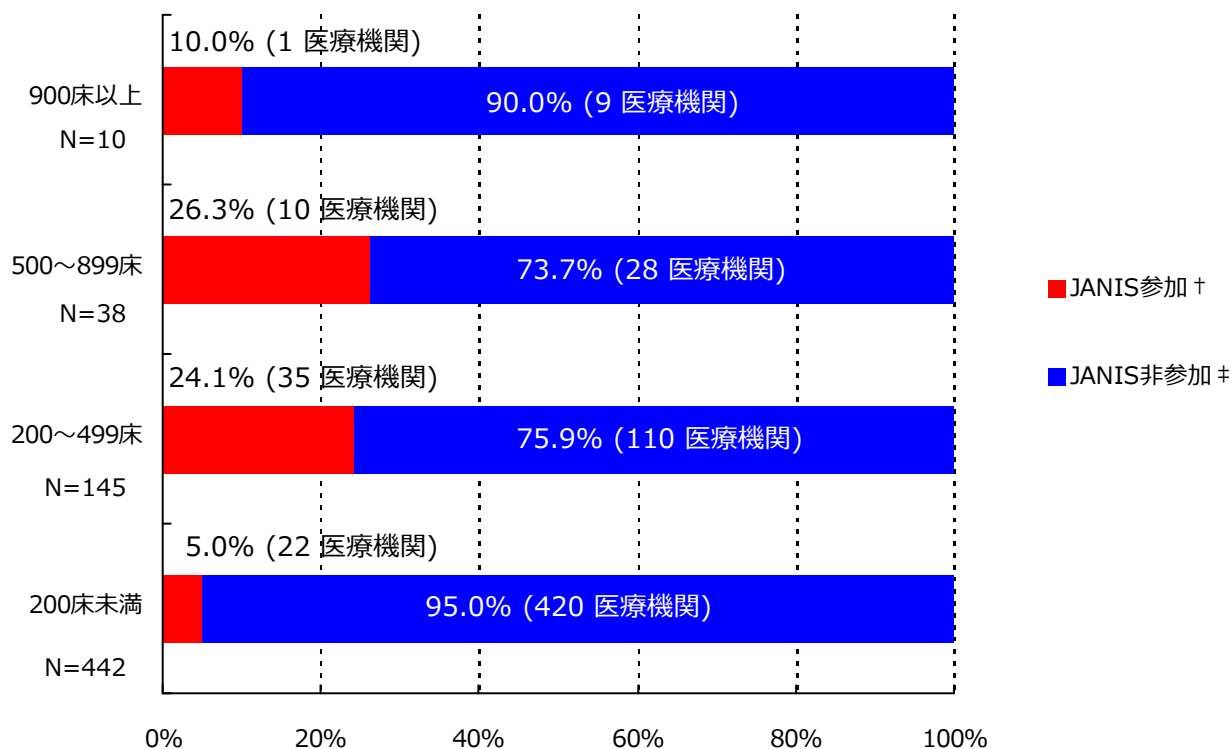
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(68医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	10	1 (10%)
500～899床	38	10 (26.3%)
200～499床	145	35 (24.1%)
200床未満	442	22 (5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	635	68 (10.7%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(東京都)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	63	411,253	27	969	2.36%	0.00 1.84 56.21 中
2021年	67	420,899	36	968	2.30%	0.00 1.88 52.71 中
2022年	68	433,829	23	938	2.16%	0.00 1.62 50.90 中

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	67	420,899	0	2	0.00%	0.00 0.00 0.11
2022年	68	433,829	0	2	0.00%	0.00 0.00 0.29

(東京都)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	63	411,253	0	4	0.01%	0.00 0.00 1.48
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	68	433,829	0	6	0.01%	0.00 0.00 0.22

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	63	411,253	0	6	0.01%	0.00 0.00 0.33
2021年	67	420,899	0	4	0.01%	0.00 0.00 0.17
2022年	68	433,829	0	5	0.01%	0.00 0.00 0.29

(東京都)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	63	411,253	1	36	0.09%	0.00 0.00 0.87 -----
2021年	67	420,899	0	46	0.11%	0.00 0.00 1.03 -----
2022年	68	433,829	0	49	0.11%	0.00 0.00 1.64 -----

(東京都)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

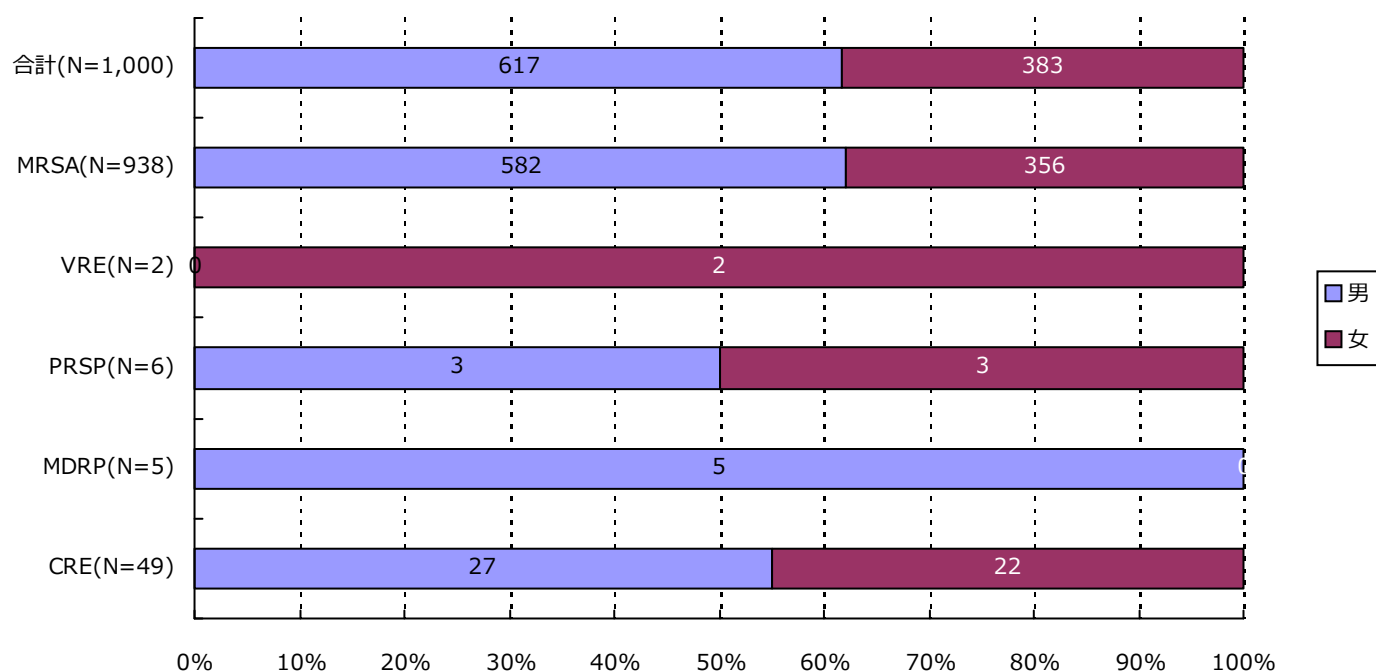
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

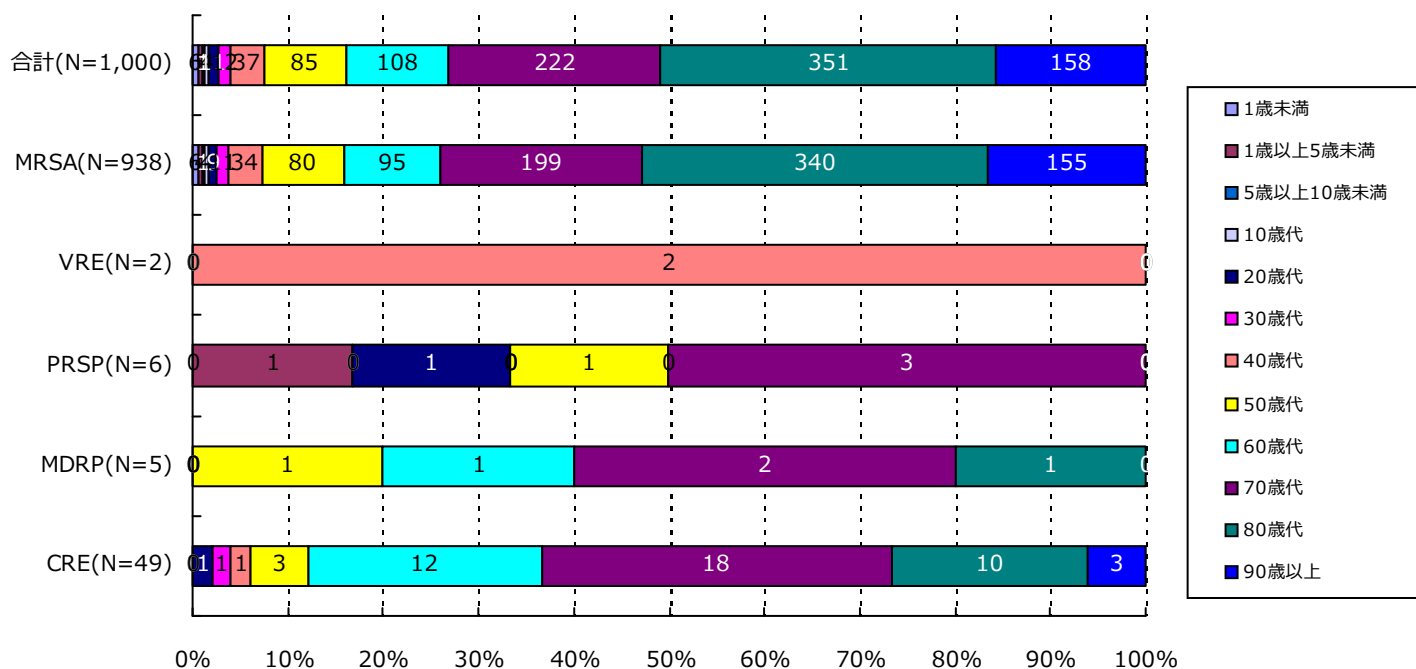
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



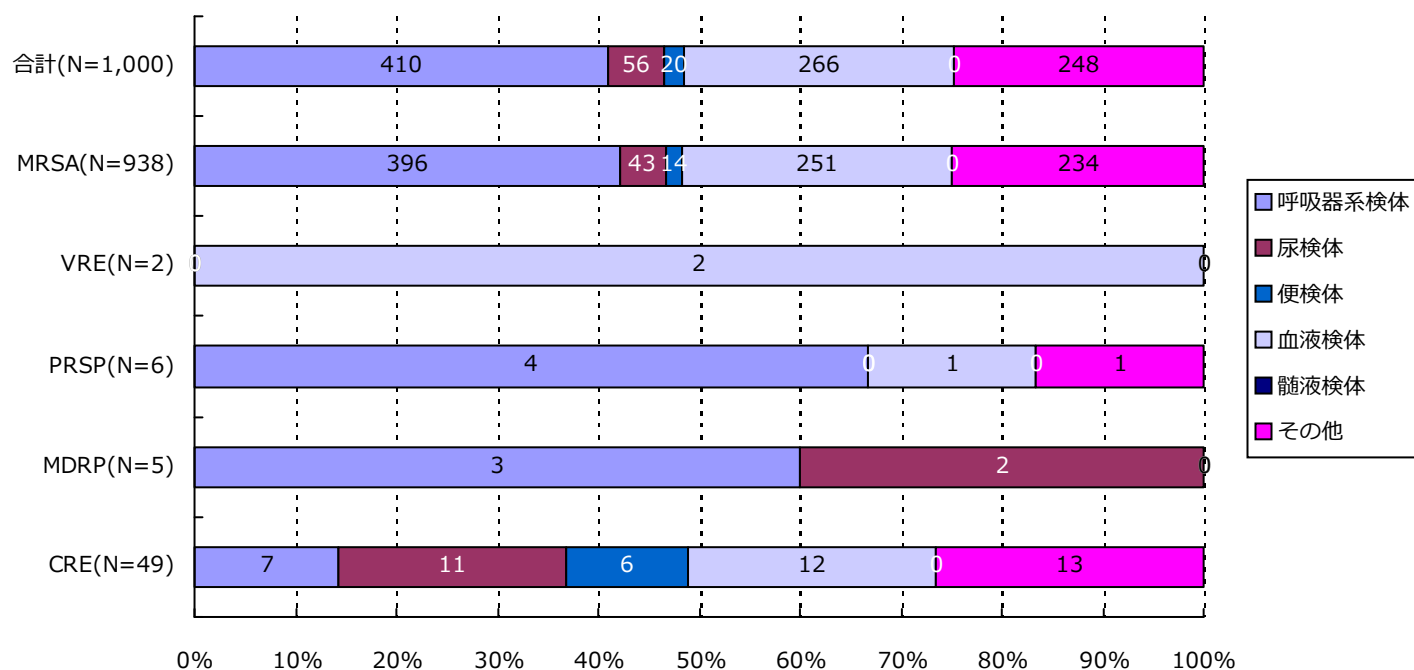
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	617(61.7%)	582(62.0%)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	5(100.0%)	0(-)	27(55.1%)
女	383(38.3%)	356(38.0%)	0(-)	2(100.0%)	3(50.0%)	0(-)	0(-)	22(44.9%)
合計	1,000	938	0	2	6	5	0	49

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	6(0.6%)	6(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	5(0.5%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.1%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	4(0.4%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	11(1.1%)	9(1.0%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	1(2.0%)
30歳代	12(1.2%)	11(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.0%)
40歳代	37(3.7%)	34(3.6%)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.0%)
50歳代	85(8.5%)	80(8.5%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	1(20.0%)	0(-)	3(6.1%)
60歳代	108(10.8%)	95(10.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	12(24.5%)
70歳代	222(22.2%)	199(21.2%)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	2(40.0%)	0(-)	18(36.7%)
80歳代	351(35.1%)	340(36.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	10(20.4%)
90歳以上	158(15.8%)	155(16.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(6.1%)
合計	1,000	938	0	2	6	5	0	49

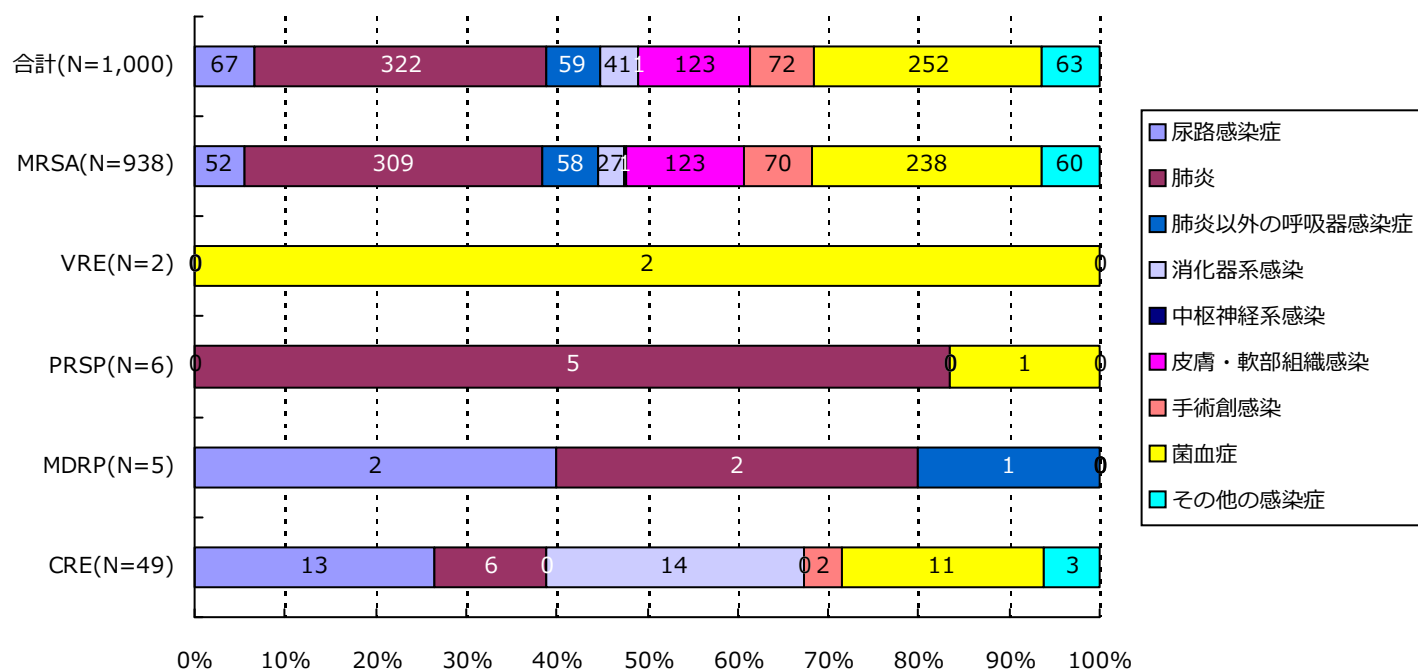
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	410(41.0%)	396(42.2%)	0(-)	0(-)	4(66.7%)	3(60.0%)	0(-)	7(14.3%)
尿検体	56(5.6%)	43(4.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	11(22.4%)
便検体	20(2.0%)	14(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(12.2%)
血液検体	266(26.6%)	251(26.8%)	0(-)	2(100.0%)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	12(24.5%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	248(24.8%)	234(24.9%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	13(26.5%)
合計	1,000	938	0	2	6	5	0	49

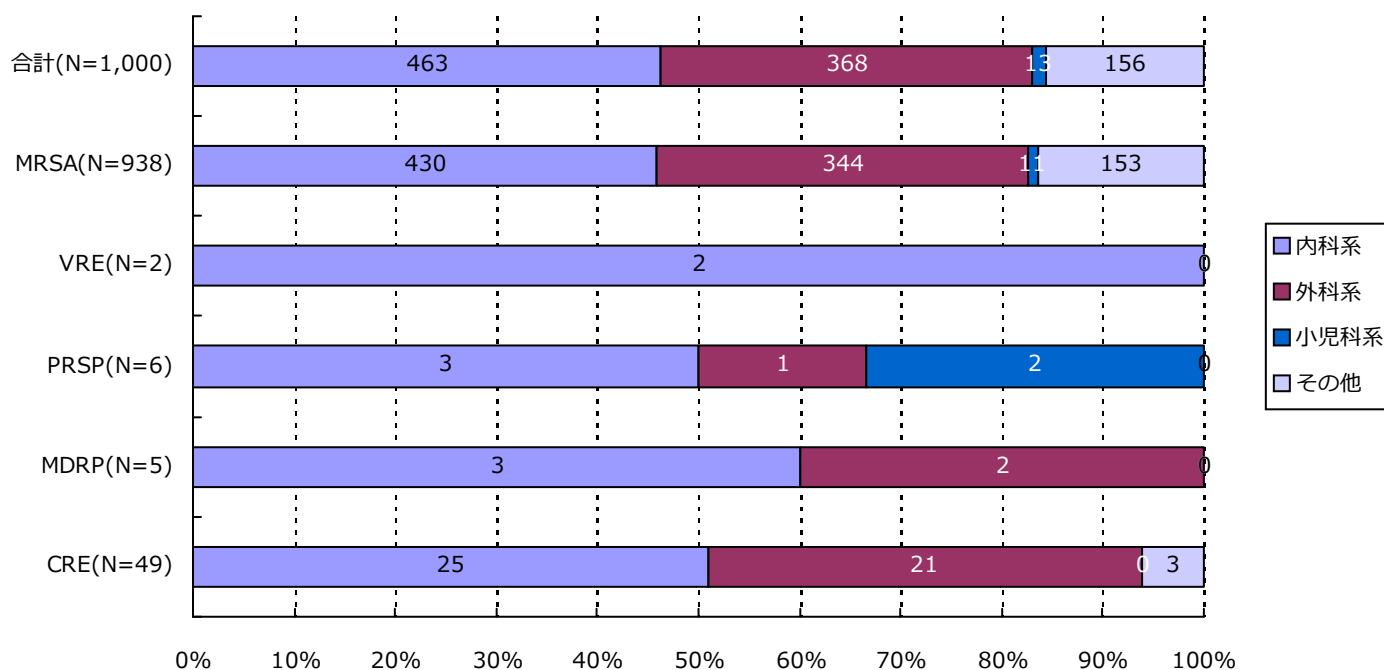
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	67(6.7%)	52(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	13(26.5%)
肺炎	322(32.2%)	309(32.9%)	0(-)	0(-)	5(83.3%)	2(40.0%)	0(-)	6(12.2%)
肺炎以外	59(5.9%)	58(6.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)
消化器系	41(4.1%)	27(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	14(28.6%)
中枢神経系	1(0.1%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	123(12.3%)	123(13.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	72(7.2%)	70(7.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(4.1%)
菌血症	252(25.2%)	238(25.4%)	0(-)	2(100.0%)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	11(22.4%)
その他	63(6.3%)	60(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(6.1%)
合計	1,000	938	0	2	6	5	0	49

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	463(46.3%)	430(45.8%)	0(-)	2(100.0%)	3(50.0%)	3(60.0%)	0(-)	25(51.0%)
外科系	368(36.8%)	344(36.7%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	2(40.0%)	0(-)	21(42.9%)
小児科系	13(1.3%)	11(1.2%)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	156(15.6%)	153(16.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(6.1%)
合計	1,000	938	0	2	6	5	0	49

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

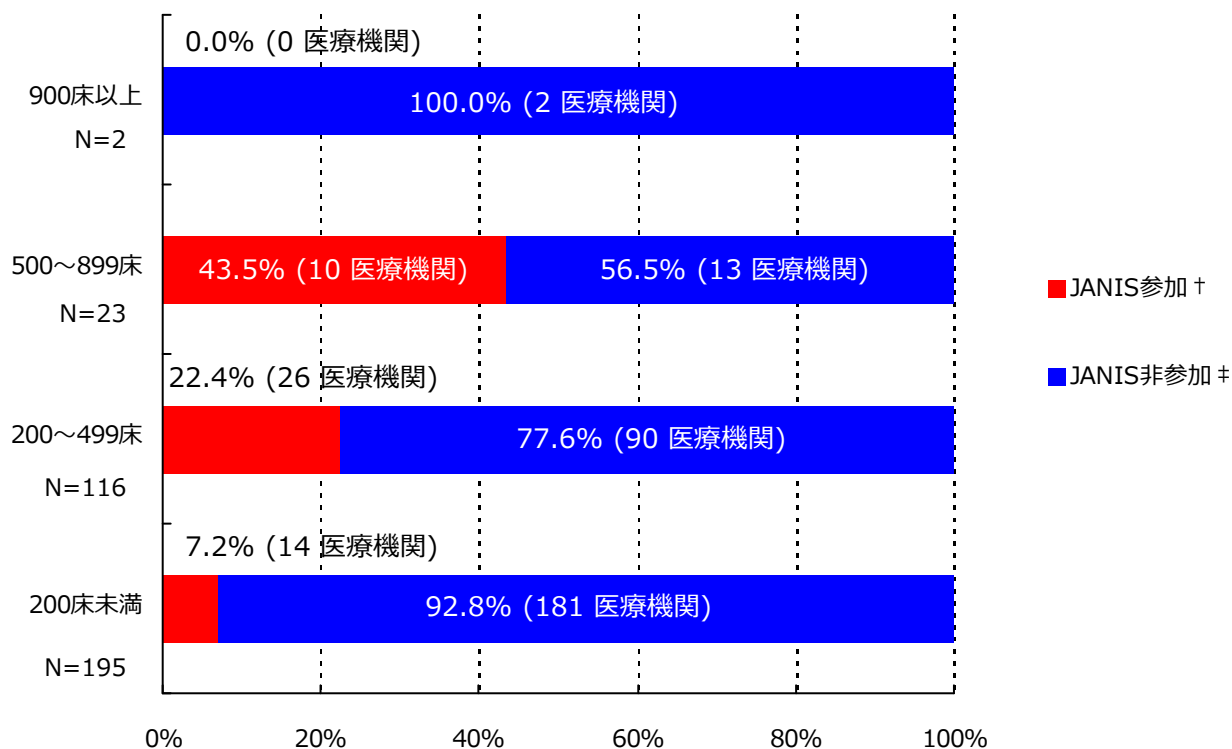
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(50医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 (0%)
500～899床	23	10 (43.5%)
200～499床	116	26 (22.4%)
200床未満	195	14 (7.2%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	336	50 (14.9%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(神奈川県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	49	281,887	14	849	3.01%	0.00 3.18 16.62
2021年	52	305,689	8	958	3.13%	0.00 2.94 13.32
2022年	50	296,316	10	884	2.98%	0.00 2.58 14.51

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	49	281,887	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.34
2021年	52	305,689	0	6	0.02%	0.00 0.00 0.44
2022年	50	296,316	0	4	0.01%	0.00 0.00 0.41

(神奈川県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	49	281,887	0	4	0.01%	0.00 0.00 0.33
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	50	296,316	0	4	0.01%	0.00 0.00 0.16

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	49	281,887	0	17	0.06%	0.00 0.00 0.98
2021年	52	305,689	0	28	0.09%	0.00 0.00 1.04
2022年	50	296,316	0	15	0.05%	0.00 0.00 0.53

(神奈川県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

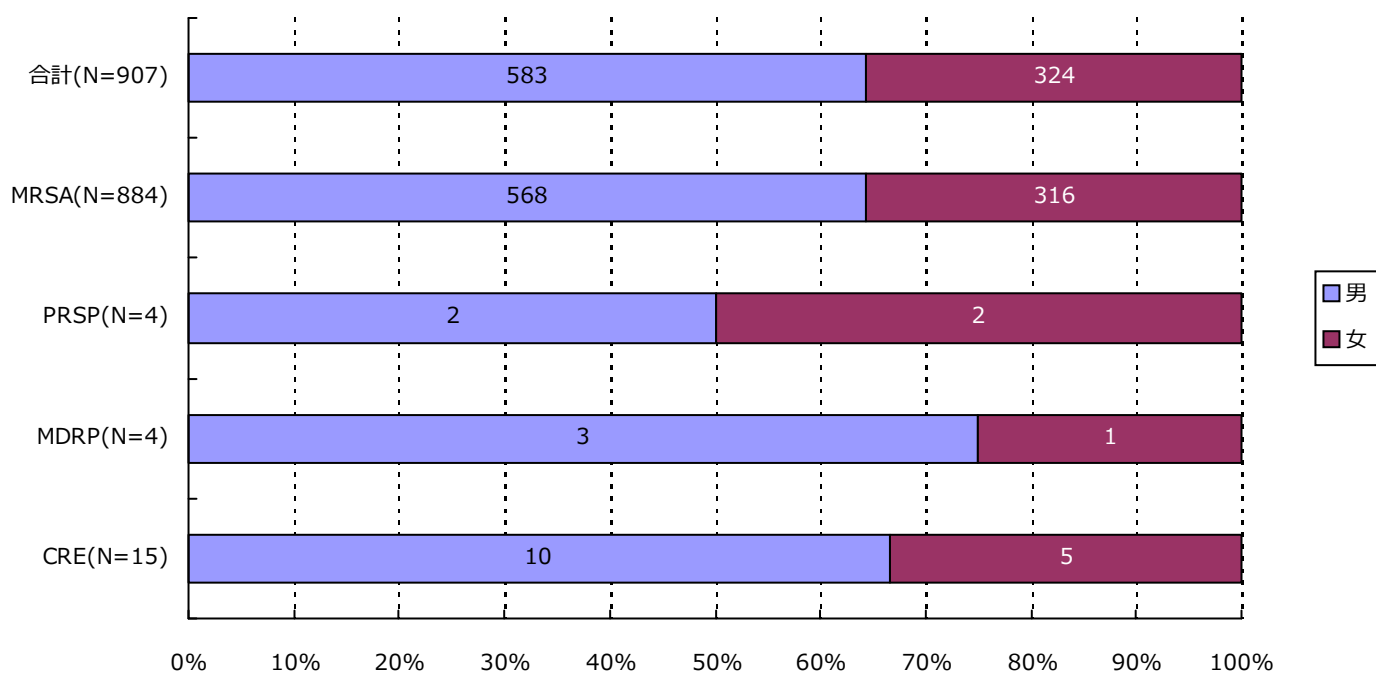
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	583(64.3%)	568(64.3%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	3(75.0%)	0(-)	10(66.7%)
女	324(35.7%)	316(35.7%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	1(25.0%)	0(-)	5(33.3%)
合計	907	884	0	0	4	4	0	15

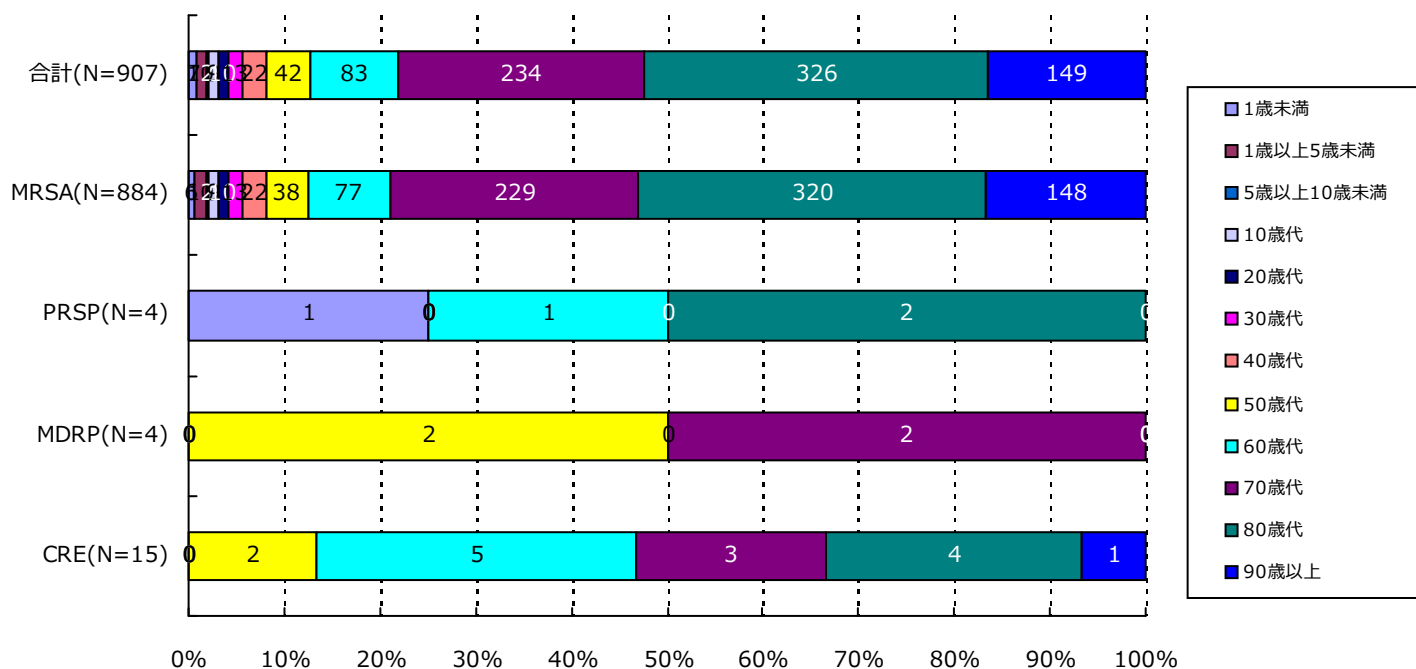
(神奈川県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

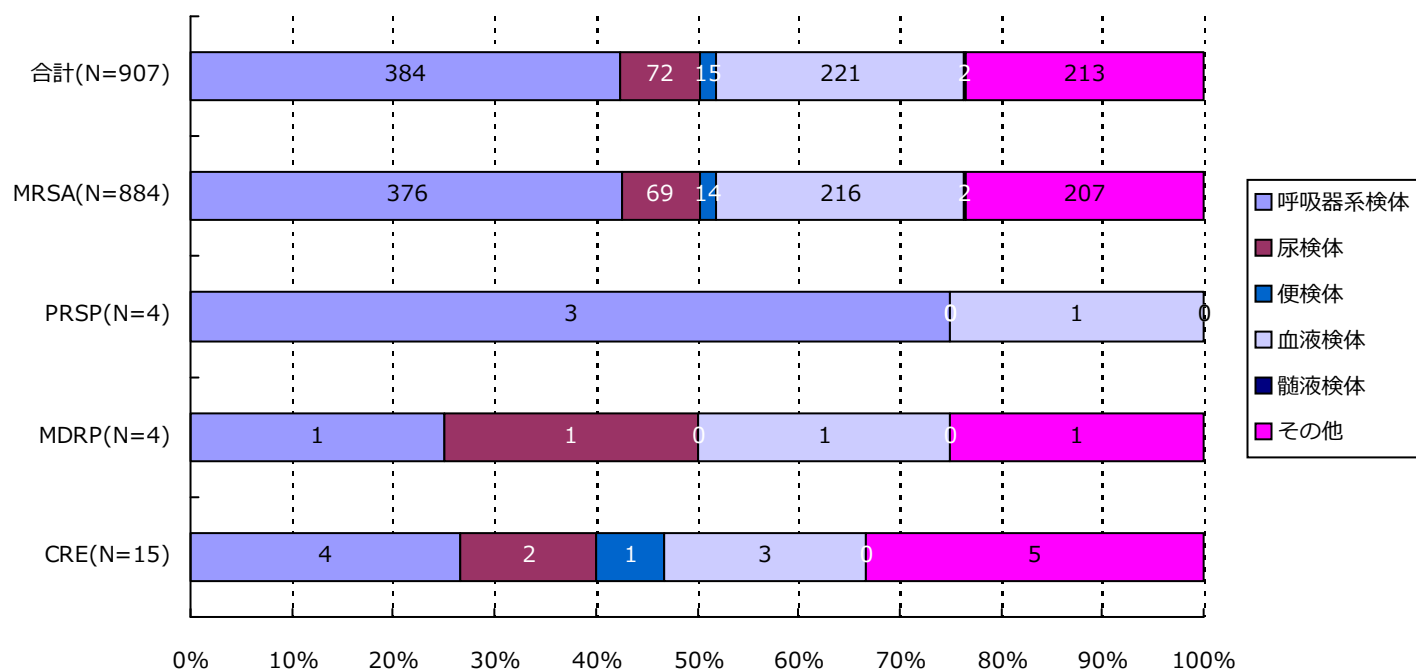


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	7(0.8%)	6(0.7%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	10(1.1%)	10(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(0.2%)	2(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	9(1.0%)	9(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	10(1.1%)	10(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	13(1.4%)	13(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	22(2.4%)	22(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	42(4.6%)	38(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	2(13.3%)
60歳代	83(9.2%)	77(8.7%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	5(33.3%)
70歳代	234(25.8%)	229(25.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	3(20.0%)
80歳代	326(35.9%)	320(36.2%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)
90歳以上	149(16.4%)	148(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(6.7%)
合計	907	884	0	0	4	4	0	15

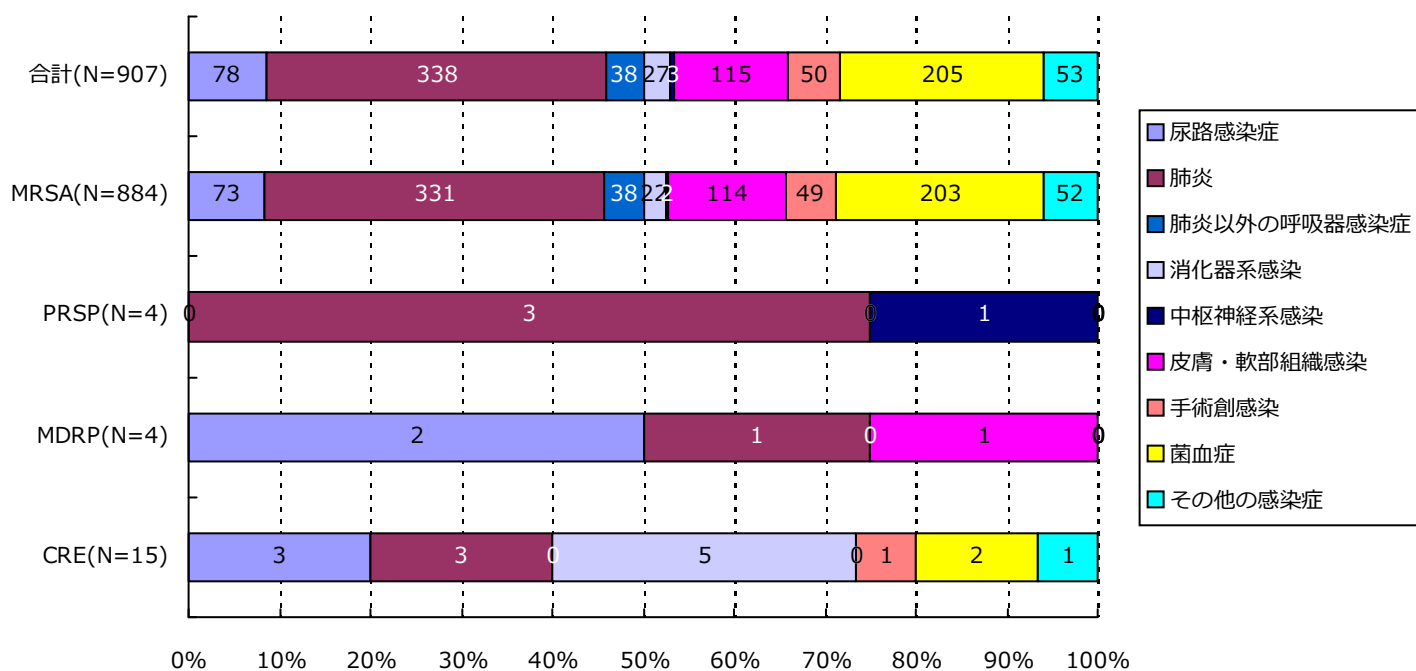
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	384(42.3%)	376(42.5%)	0(-)	0(-)	3(75.0%)	1(25.0%)	0(-)	4(26.7%)
尿検体	72(7.9%)	69(7.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	2(13.3%)
便検体	15(1.7%)	14(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(6.7%)
血液検体	221(24.4%)	216(24.4%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	1(25.0%)	0(-)	3(20.0%)
髄液検体	2(0.2%)	2(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	213(23.5%)	207(23.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	5(33.3%)
合計	907	884	0	0	4	4	0	15

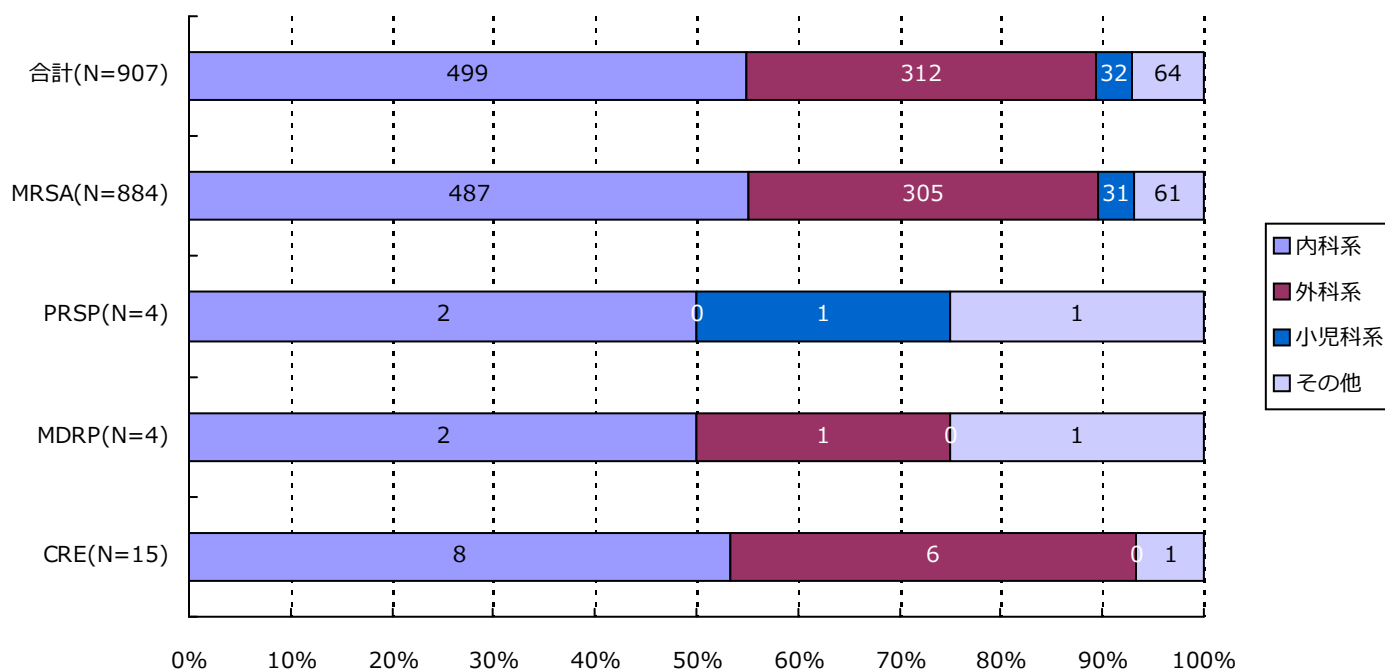
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	78(8.6%)	73(8.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	3(20.0%)
肺炎	338(37.3%)	331(37.4%)	0(-)	0(-)	3(75.0%)	1(25.0%)	0(-)	3(20.0%)
肺炎以外	38(4.2%)	38(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	27(3.0%)	22(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(33.3%)
中枢神経系	3(0.3%)	2(0.2%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	115(12.7%)	114(12.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)
手術創	50(5.5%)	49(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(6.7%)
菌血症	205(22.6%)	203(23.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(13.3%)
その他	53(5.8%)	52(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(6.7%)
合計	907	884	0	0	4	4	0	15

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	499(55.0%)	487(55.1%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	2(50.0%)	0(-)	8(53.3%)
外科系	312(34.4%)	305(34.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	6(40.0%)
小児科系	32(3.5%)	31(3.5%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	64(7.1%)	61(6.9%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	1(25.0%)	0(-)	1(6.7%)
合計	907	884	0	0	4	4	0	15

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

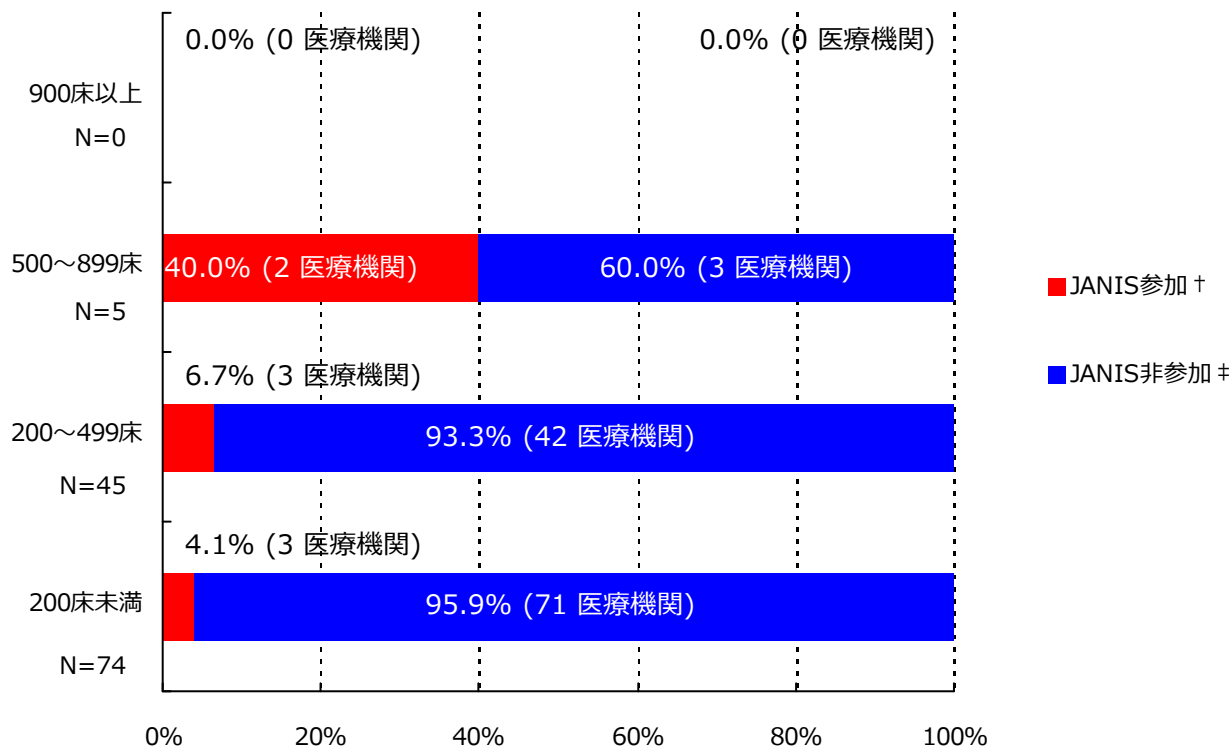
(新潟県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(8医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	5	2 (40%)
200～499床	45	3 (6.7%)
200床未満	74	3 (4.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	124	8 (6.5%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(新潟県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	8	57,492	2	87	1.51%	0.00 1.09 13.27
2021年	8	57,412	1	72	1.25%	0.00 0.56 2.87
2022年	8	55,890	1	54	0.97%	0.00 0.75 2.70

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	8	57,492	0	3	0.05%	0.00 0.00 0.44
2021年	8	57,412	0	3	0.05%	0.00 0.00 1.16
2022年	8	55,890	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.25

(新潟県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

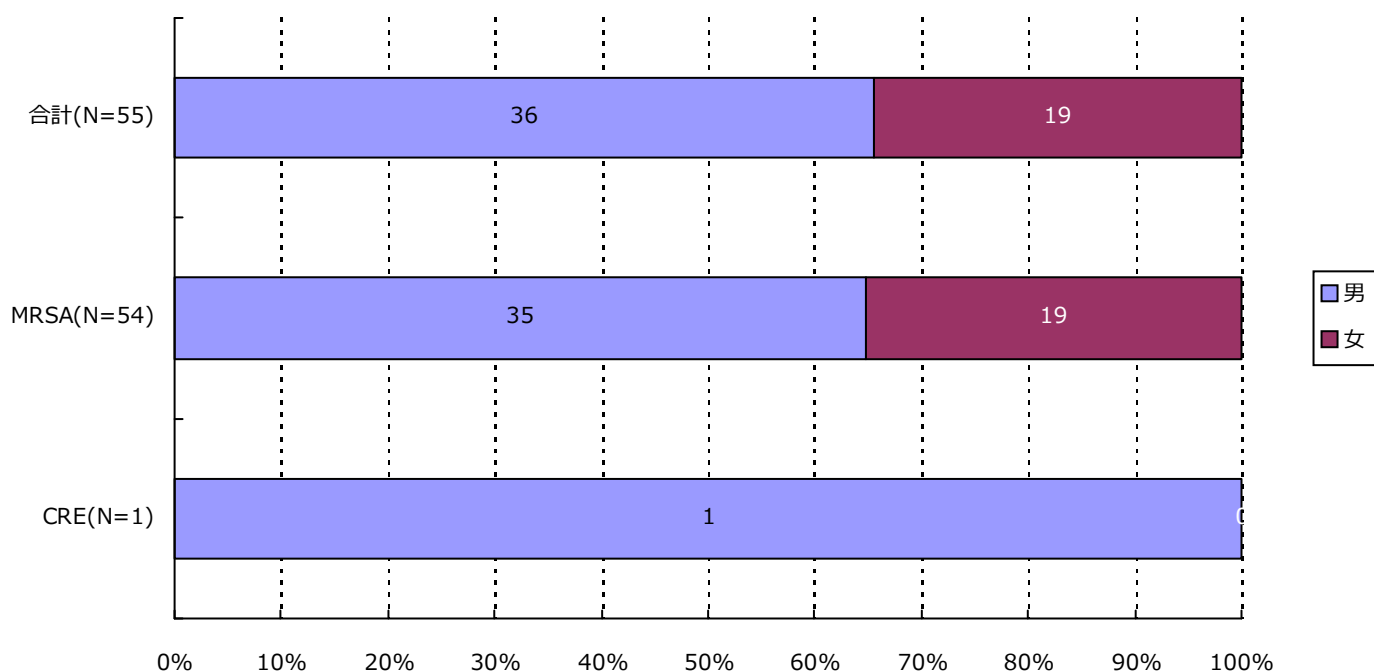
(新潟県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	36 (65.5%)	35 (64.8%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)
女	19 (34.5%)	19 (35.2%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	55	54	0	0	0	0	0	1

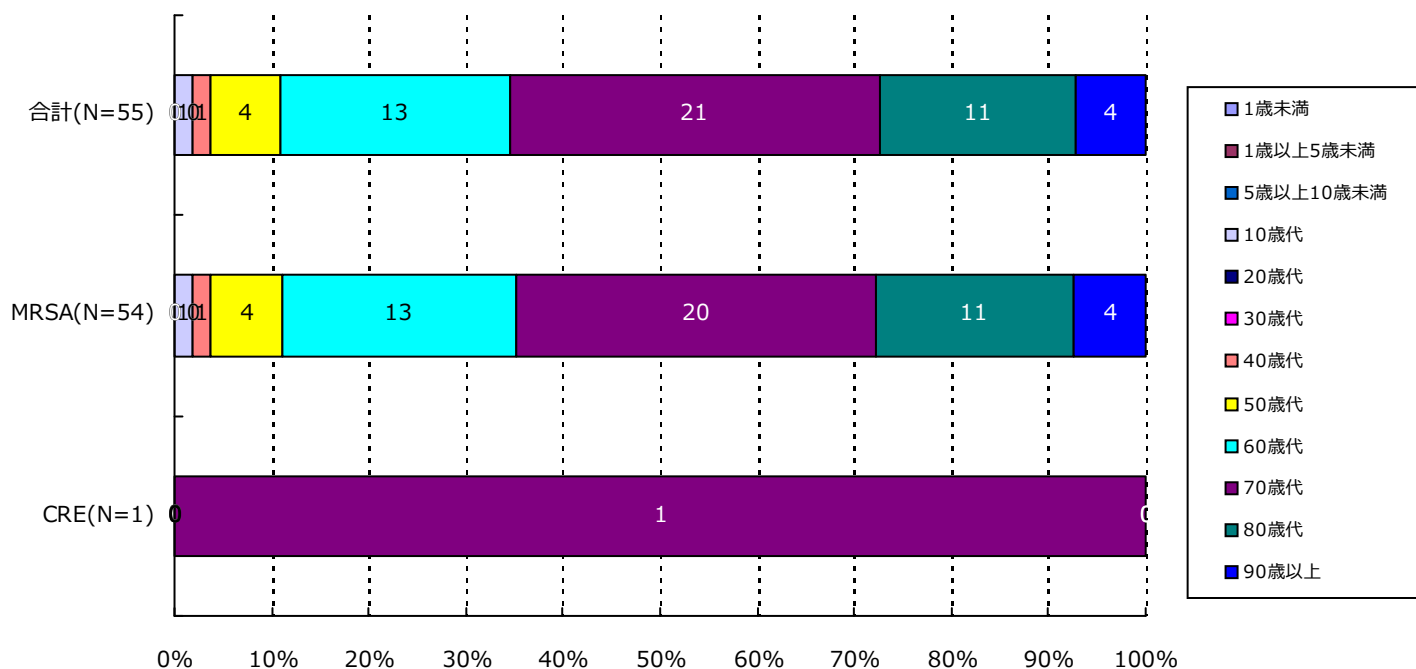
(新潟県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

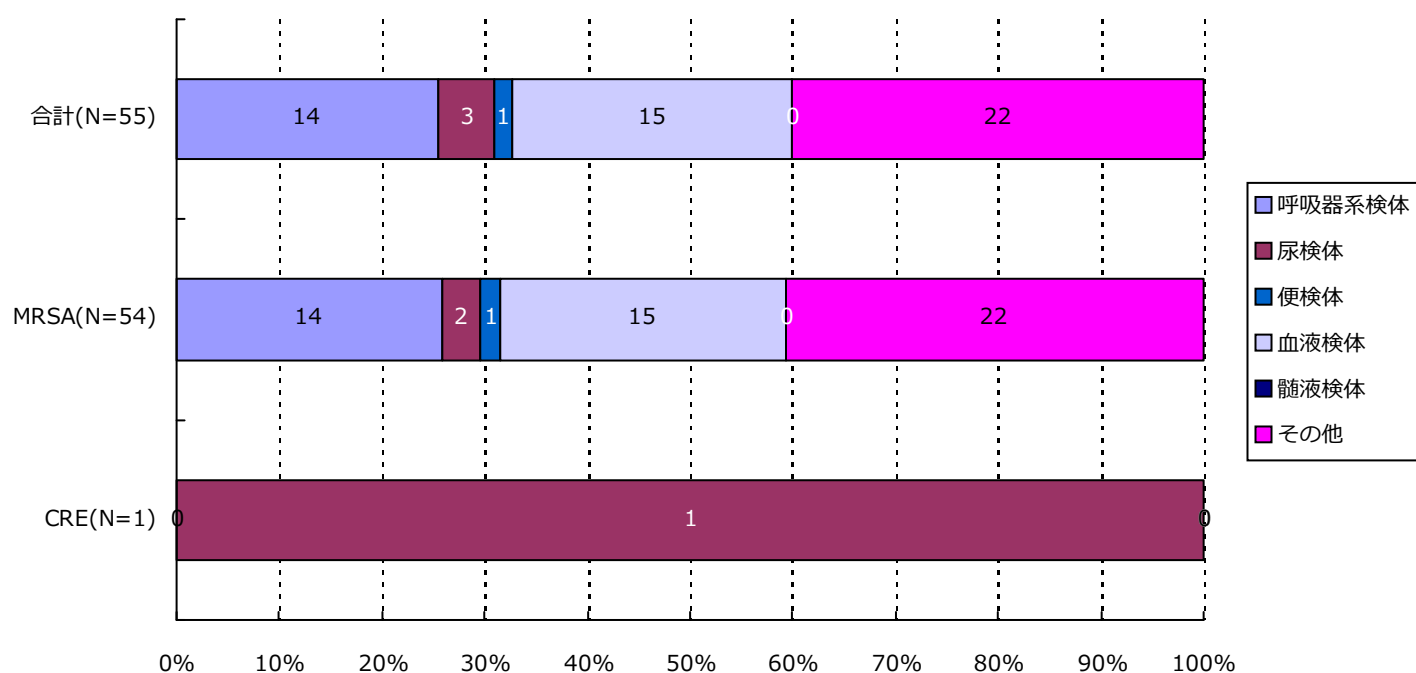


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(1.8%)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	1(1.8%)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	4(7.3%)	4(7.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	13(23.6%)	13(24.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	21(38.2%)	20(37.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
80歳代	11(20.0%)	11(20.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	4(7.3%)	4(7.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	55	54	0	0	0	0	0	1

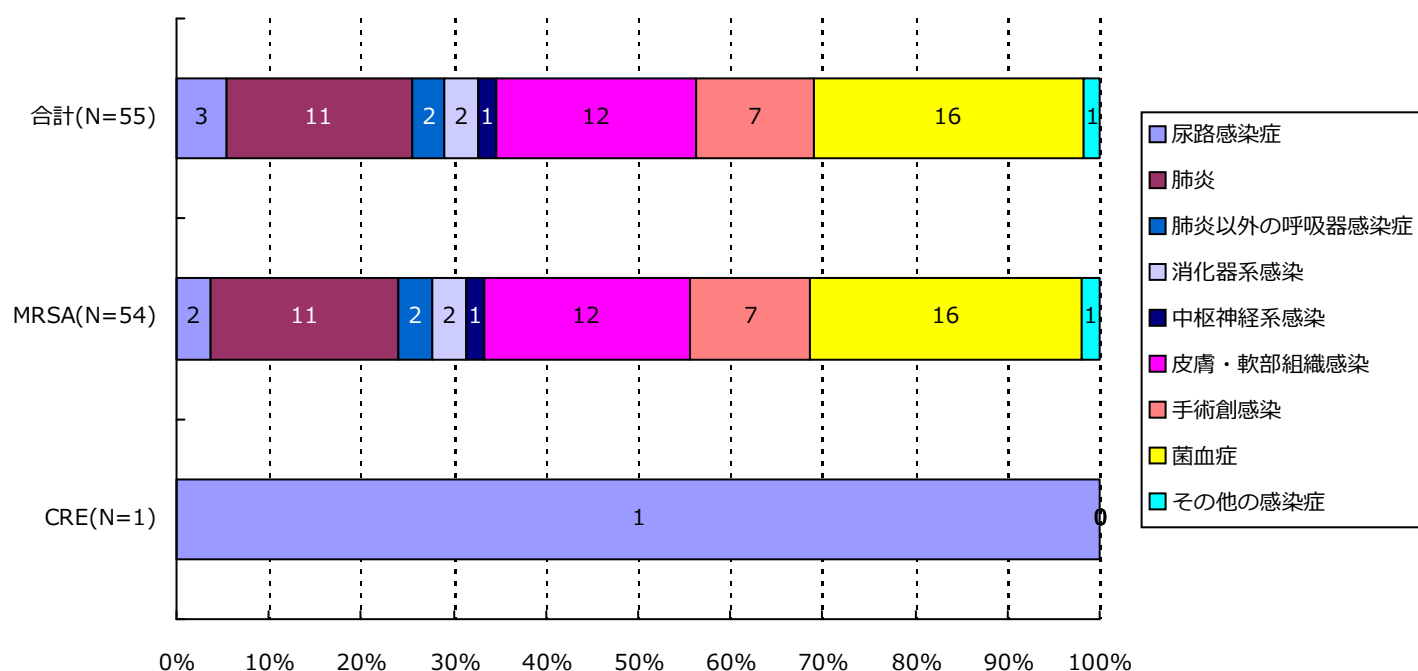
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	14(25.5%)	14(25.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	3(5.5%)	2(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
便検体	1(1.8%)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	15(27.3%)	15(27.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	22(40.0%)	22(40.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	55	54	0	0	0	0	0	1

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	3(5.5%)	2(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
肺炎	11(20.0%)	11(20.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	2(3.6%)	2(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	2(3.6%)	2(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(1.8%)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	12(21.8%)	12(22.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	7(12.7%)	7(13.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	16(29.1%)	16(29.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	1(1.8%)	1(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	55	54	0	0	0	0	0	1

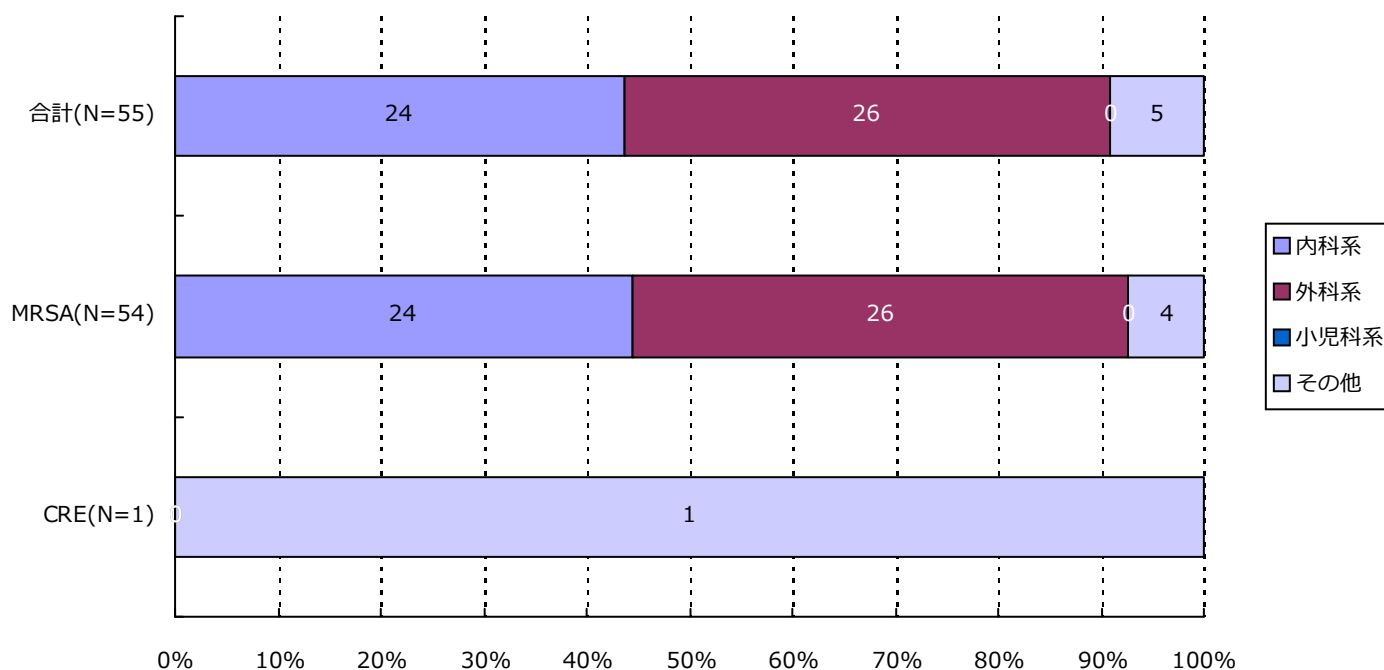
(新潟県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	24(43.6%)	24(44.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	26(47.3%)	26(48.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	5(9.1%)	4(7.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
合計	55	54	0	0	0	0	0	1

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
小児科系	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター
内科系	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

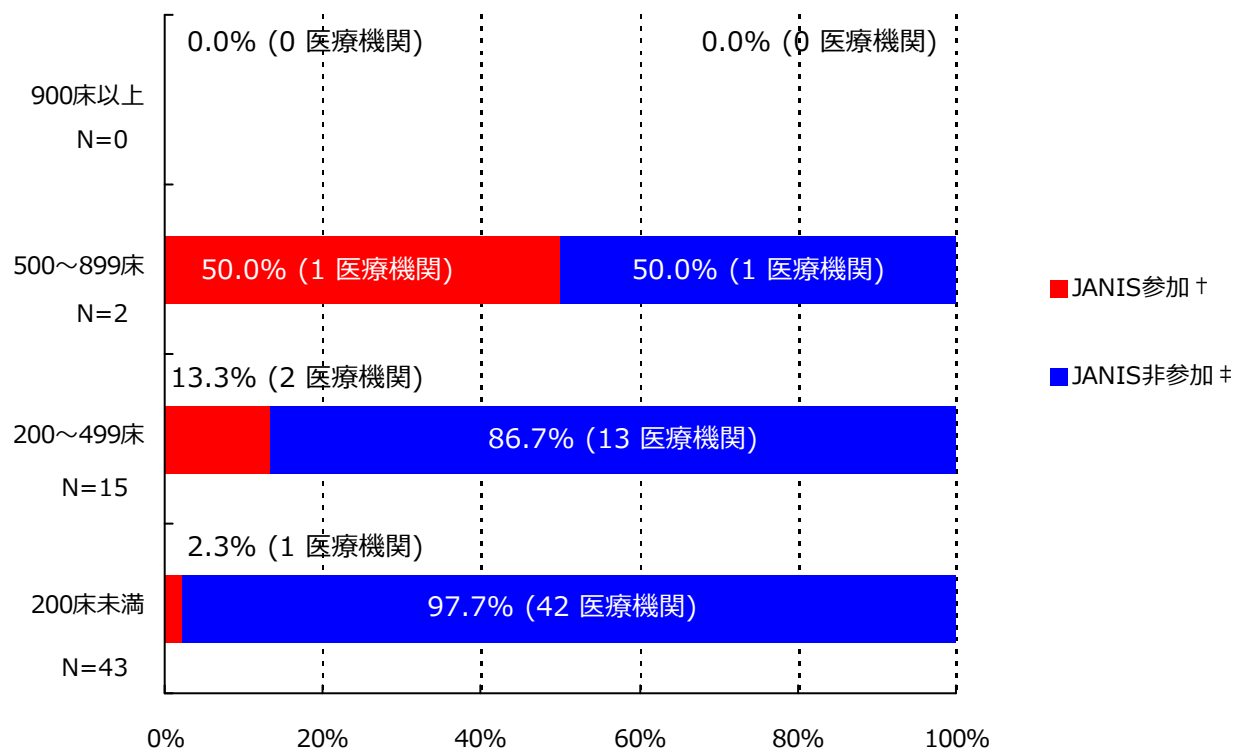
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

(山梨県)
公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(4医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	1 (50%)
200～499床	15	2 (13.3%)
200床未満	43	1 (2.3%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	60	4 (6.7%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(山梨県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	4	25,501	0	111	4.35%	0.00 3.61 9.40
2021年	4	27,039	1	121	4.48%	2.84 6.59 12.85
2022年	4	26,909	1	109	4.05%	2.41 3.61 8.05

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	4	26,909	0	1	0.04%	0.00 0.00 0.15

(山梨県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

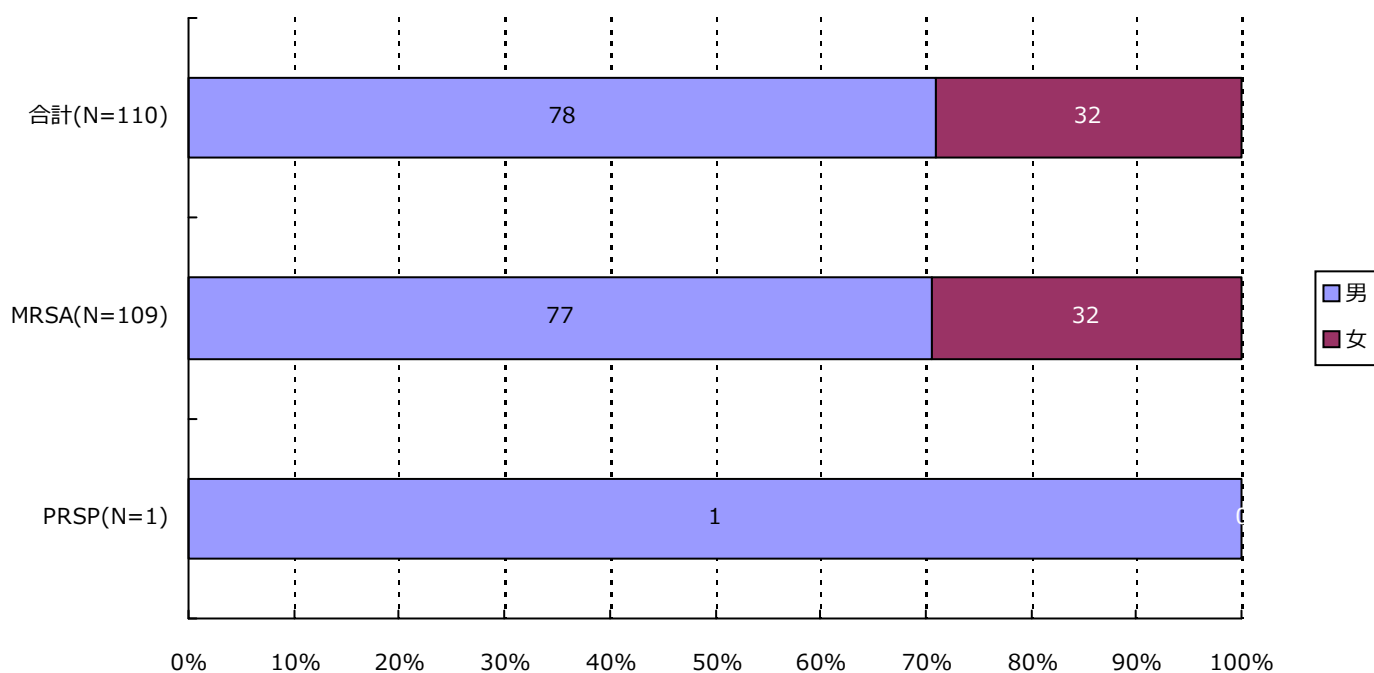
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	78 (70.9%)	77 (70.6%)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女	32 (29.1%)	32 (29.4%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	110	109	0	0	1	0	0	0

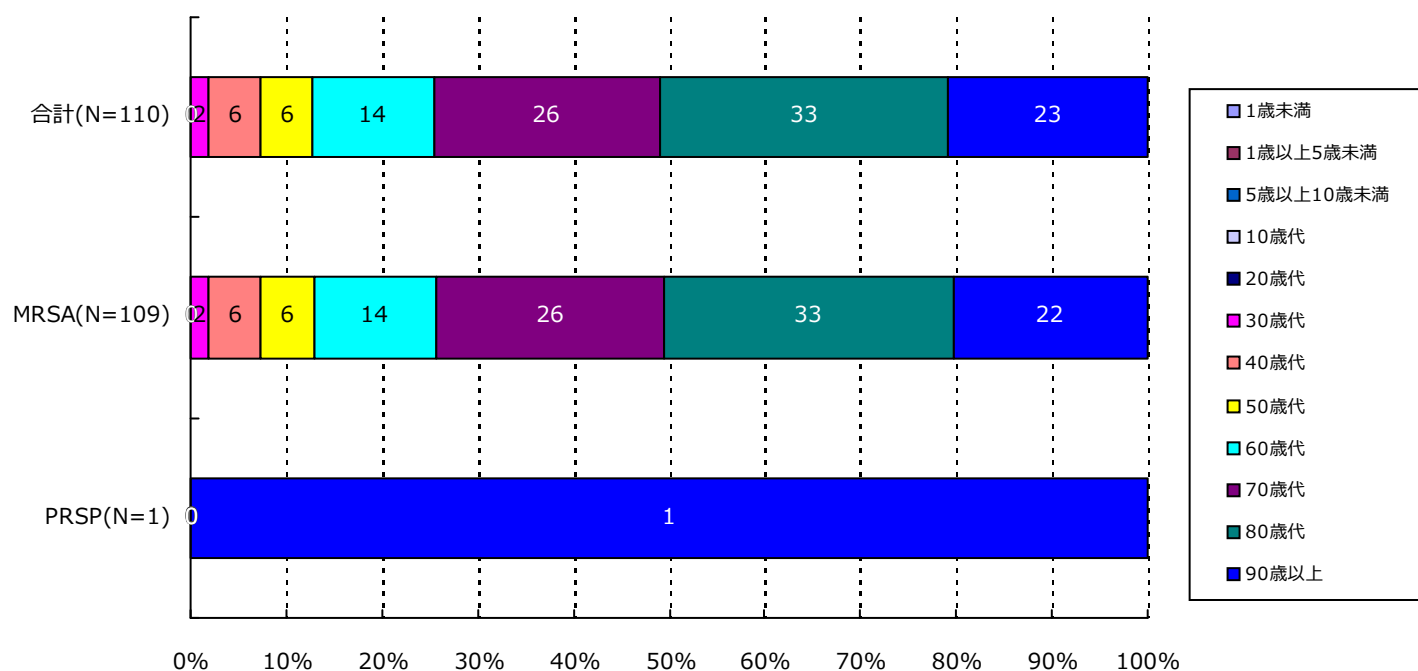
(山梨県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

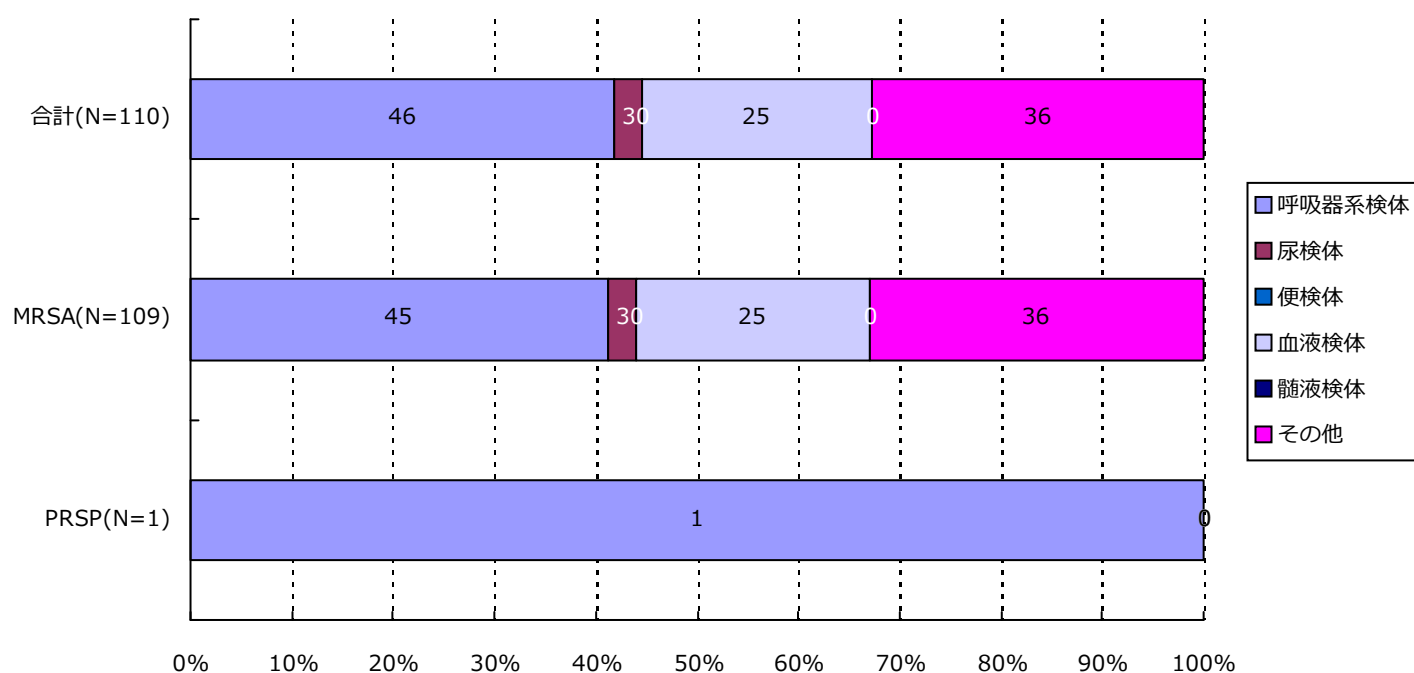


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(1.8%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	6(5.5%)	6(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	6(5.5%)	6(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	14(12.7%)	14(12.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	26(23.6%)	26(23.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	33(30.0%)	33(30.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	23(20.9%)	22(20.2%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	110	109	0	0	1	0	0	0

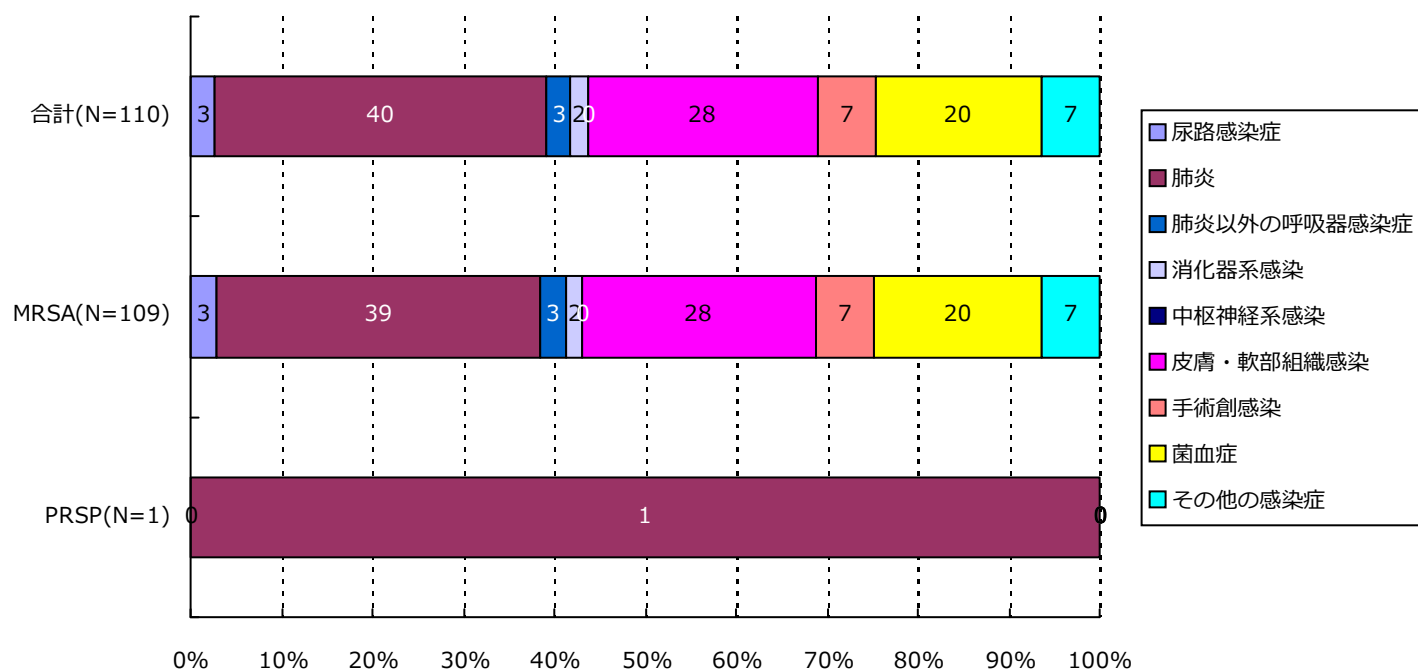
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	46(41.8%)	45(41.3%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	3(2.7%)	3(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	25(22.7%)	25(22.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	36(32.7%)	36(33.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	110	109	0	0	1	0	0	0

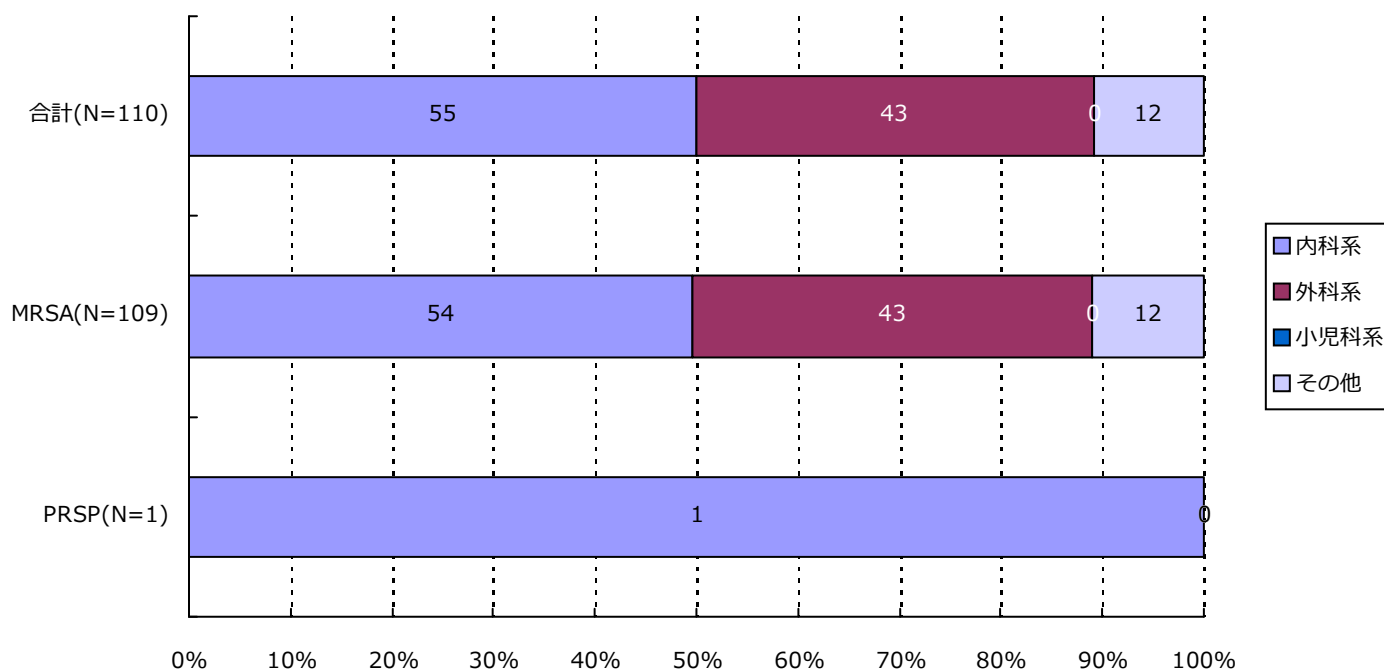
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	3(2.7%)	3(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	40(36.4%)	39(35.8%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	3(2.7%)	3(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	2(1.8%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	28(25.5%)	28(25.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	7(6.4%)	7(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	20(18.2%)	20(18.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	7(6.4%)	7(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	110	109	0	0	1	0	0	0

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	55(50.0%)	54(49.5%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	43(39.1%)	43(39.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	12(10.9%)	12(11.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	110	109	0	0	1	0	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
小児科系	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター
内科系	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他

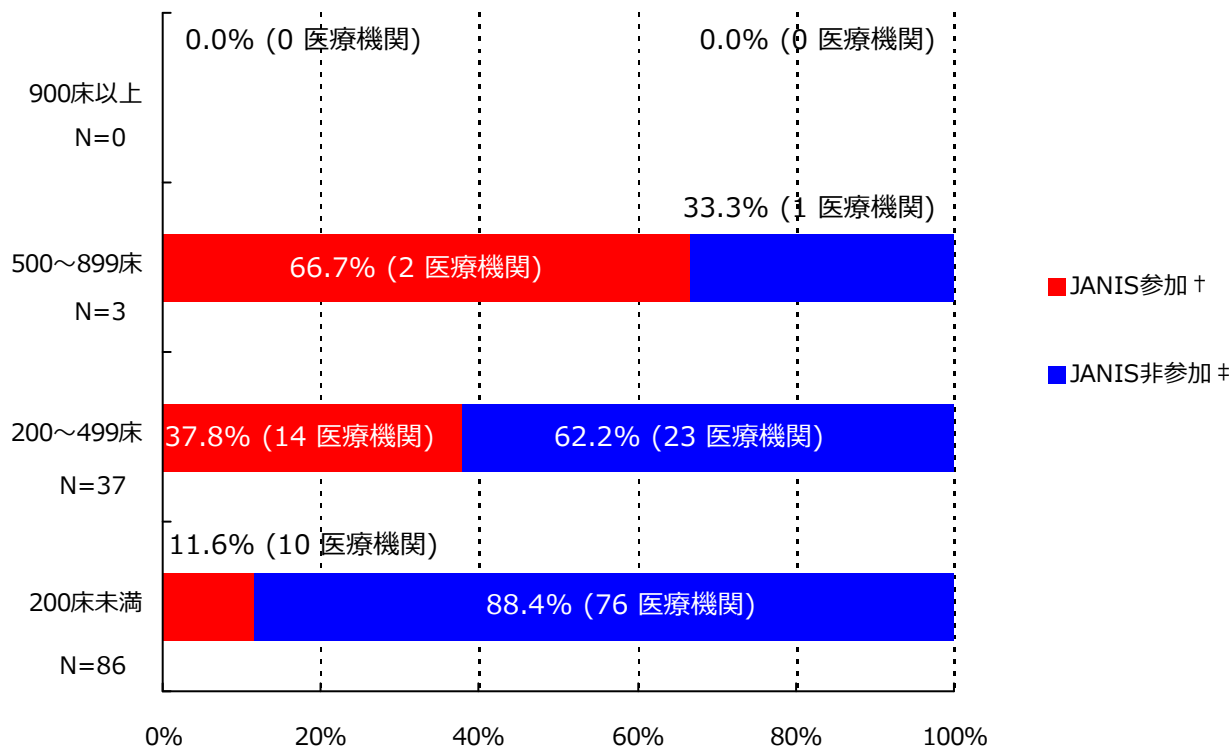
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(26医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	2 (66.7%)
200～499床	37	14 (37.8%)
200床未満	86	10 (11.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	126	26 (20.6%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(長野県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	26	136,104	4	262	1.93%	0.00 1.37 13.64
2021年	25	134,291	6	273	2.03%	0.00 1.48 14.86
2022年	26	133,879	10	283	2.11%	0.00 1.69 19.61

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	26	136,104	0	9	0.07%	0.00 0.00 0.38
2021年	25	134,291	0	4	0.03%	0.00 0.00 0.44
2022年	26	133,879	0	10	0.07%	0.00 0.00 0.88

(長野県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	26	136,104	2	8	0.06%	0.00 0.00 0.97 -----
2021年	25	134,291	0	7	0.05%	0.00 0.00 0.25 -----
2022年	26	133,879	0	14	0.10%	0.00 0.00 0.65 -----

(長野県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

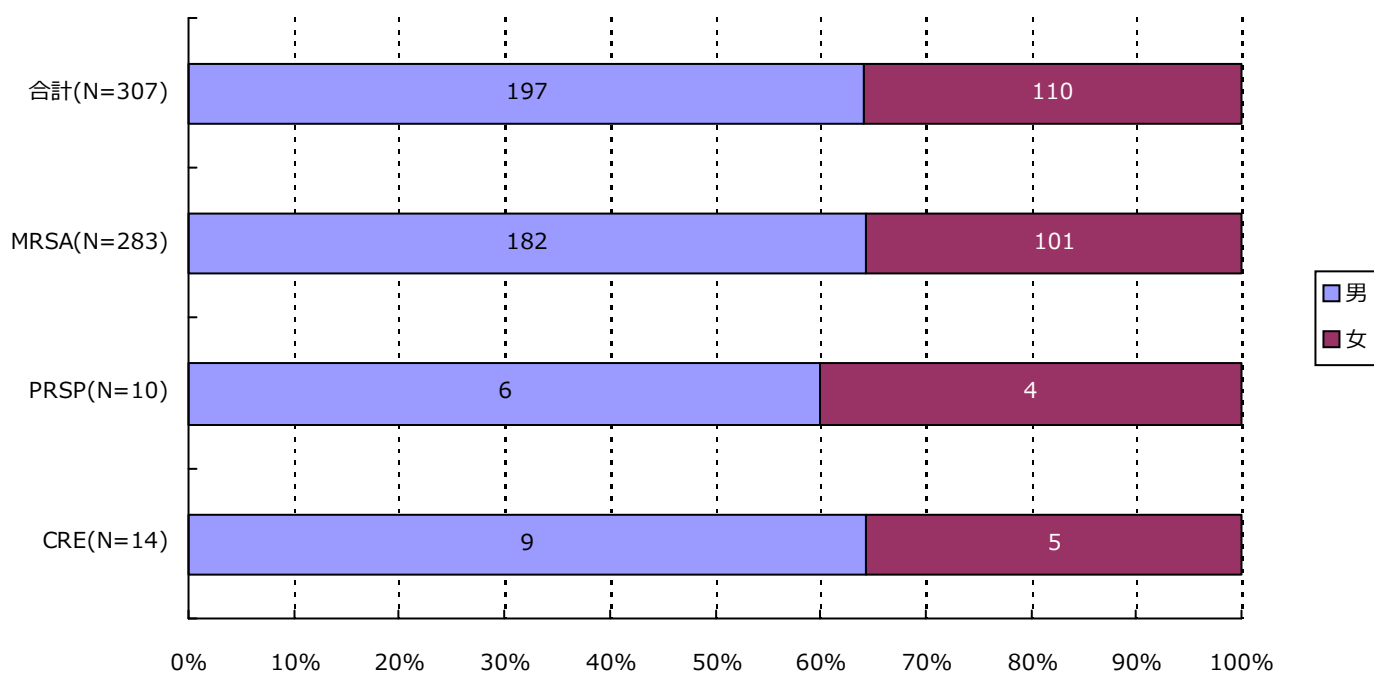
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	197(64.2%)	182(64.3%)	0(-)	0(-)	6 (60.0%)	0(-)	0(-)	9(64.3%)
女	110(35.8%)	101(35.7%)	0(-)	0(-)	4 (40.0%)	0(-)	0(-)	5(35.7%)
合計	307	283	0	0	10	0	0	14

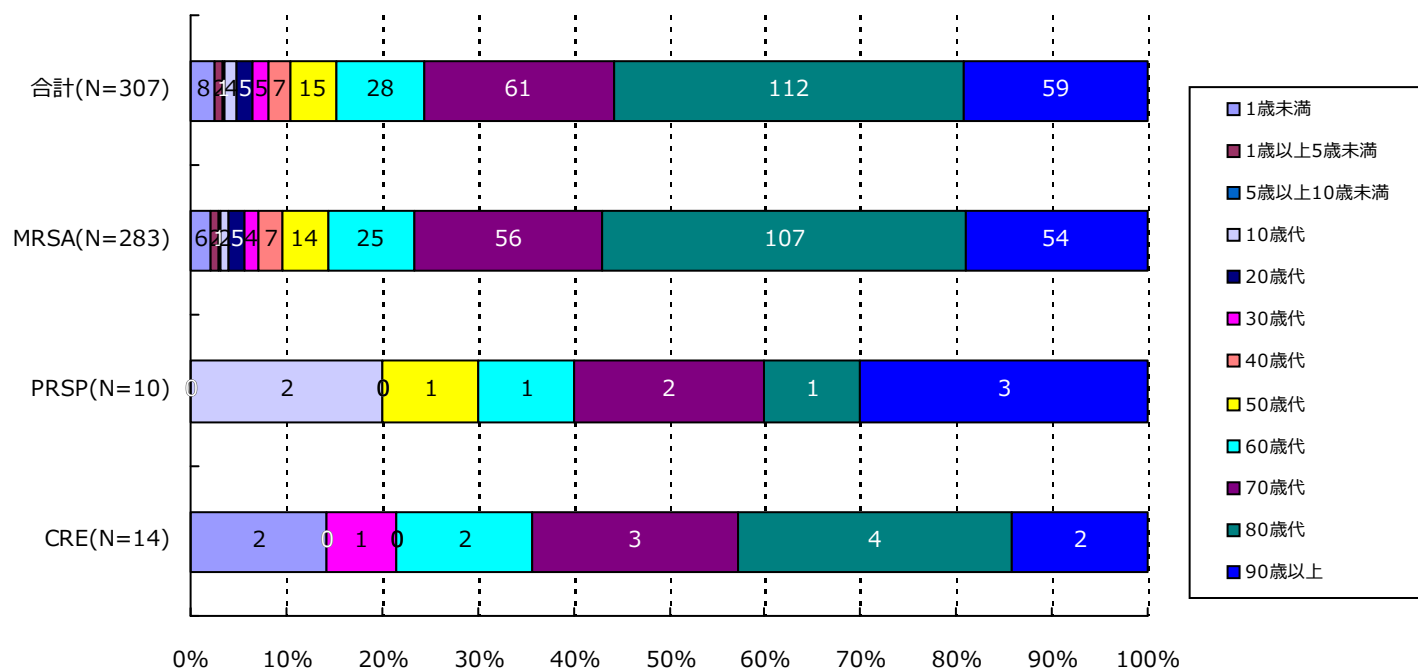
(長野県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

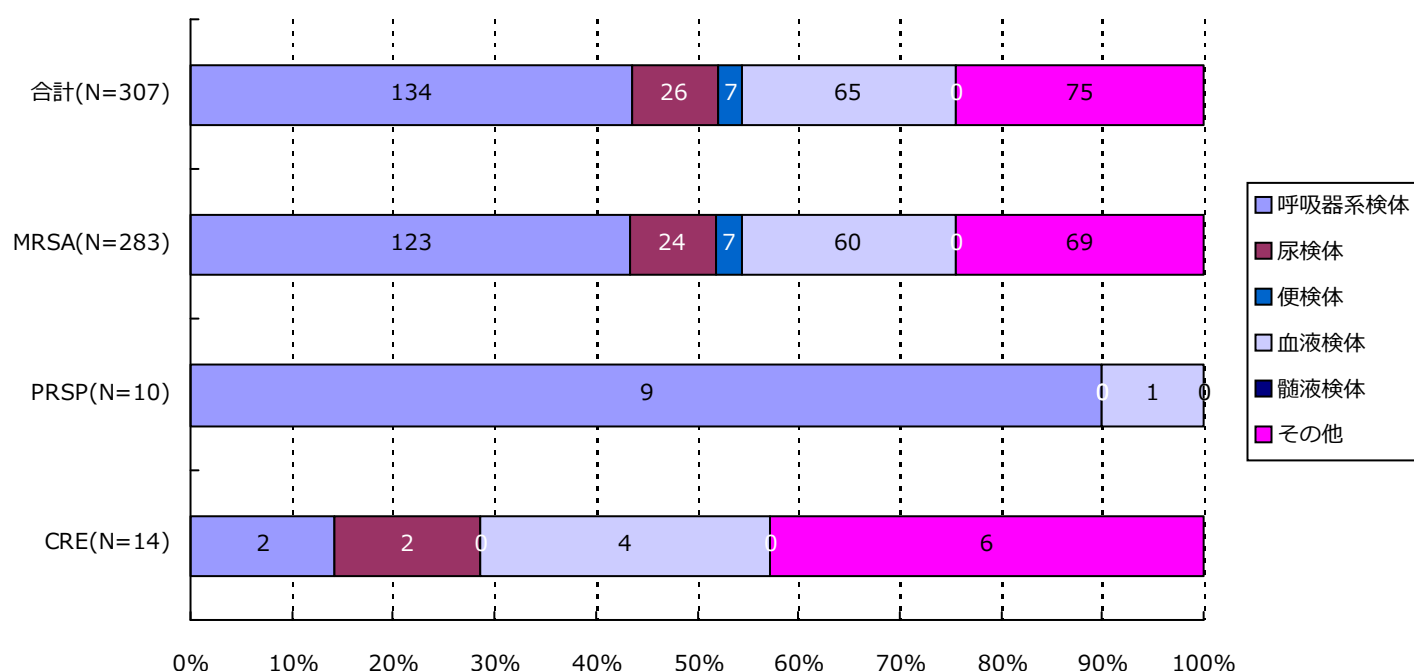


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	8(2.6%)	6(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(14.3%)
1歳以上5歳未満	2(0.7%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.3%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	4(1.3%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	2(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	5(1.6%)	5(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	5(1.6%)	4(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(7.1%)
40歳代	7(2.3%)	7(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	15(4.9%)	14(4.9%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	28(9.1%)	25(8.8%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)	0(-)	0(-)	2(14.3%)
70歳代	61(19.9%)	56(19.8%)	0(-)	0(-)	2(20.0%)	0(-)	0(-)	3(21.4%)
80歳代	112(36.5%)	107(37.8%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)	0(-)	0(-)	4(28.6%)
90歳以上	59(19.2%)	54(19.1%)	0(-)	0(-)	3(30.0%)	0(-)	0(-)	2(14.3%)
合計	307	283	0	0	10	0	0	14

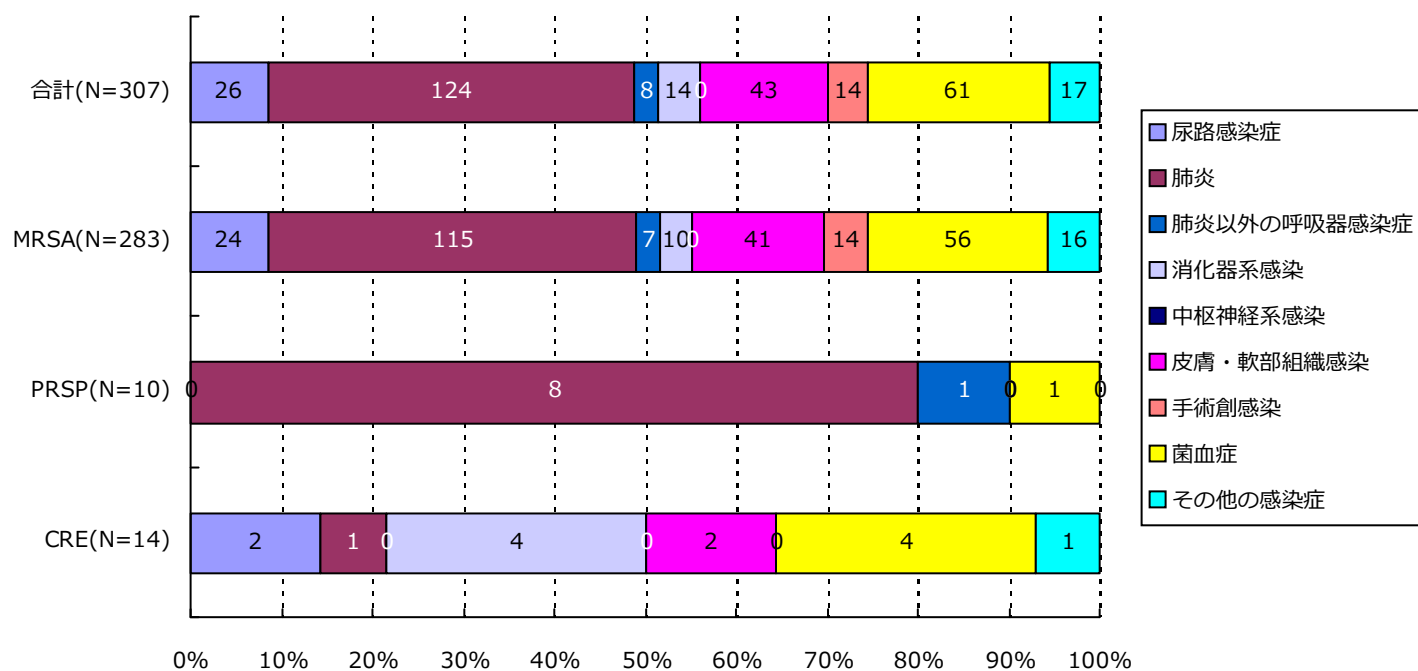
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	134(43.6%)	123(43.5%)	0(-)	0(-)	9(90.0%)	0(-)	0(-)	2(14.3%)
尿検体	26(8.5%)	24(8.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(14.3%)
便検体	7(2.3%)	7(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	65(21.2%)	60(21.2%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)	0(-)	0(-)	4(28.6%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	75(24.4%)	69(24.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(42.9%)
合計	307	283	0	0	10	0	0	14

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	26(8.5%)	24(8.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(14.3%)
肺炎	124(40.4%)	115(40.6%)	0(-)	0(-)	8(80.0%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)
肺炎以外	8(2.6%)	7(2.5%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	14(4.6%)	10(3.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(28.6%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	43(14.0%)	41(14.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(14.3%)
手術創	14(4.6%)	14(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	61(19.9%)	56(19.8%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)	0(-)	0(-)	4(28.6%)
その他	17(5.5%)	16(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(7.1%)
合計	307	283	0	0	10	0	0	14

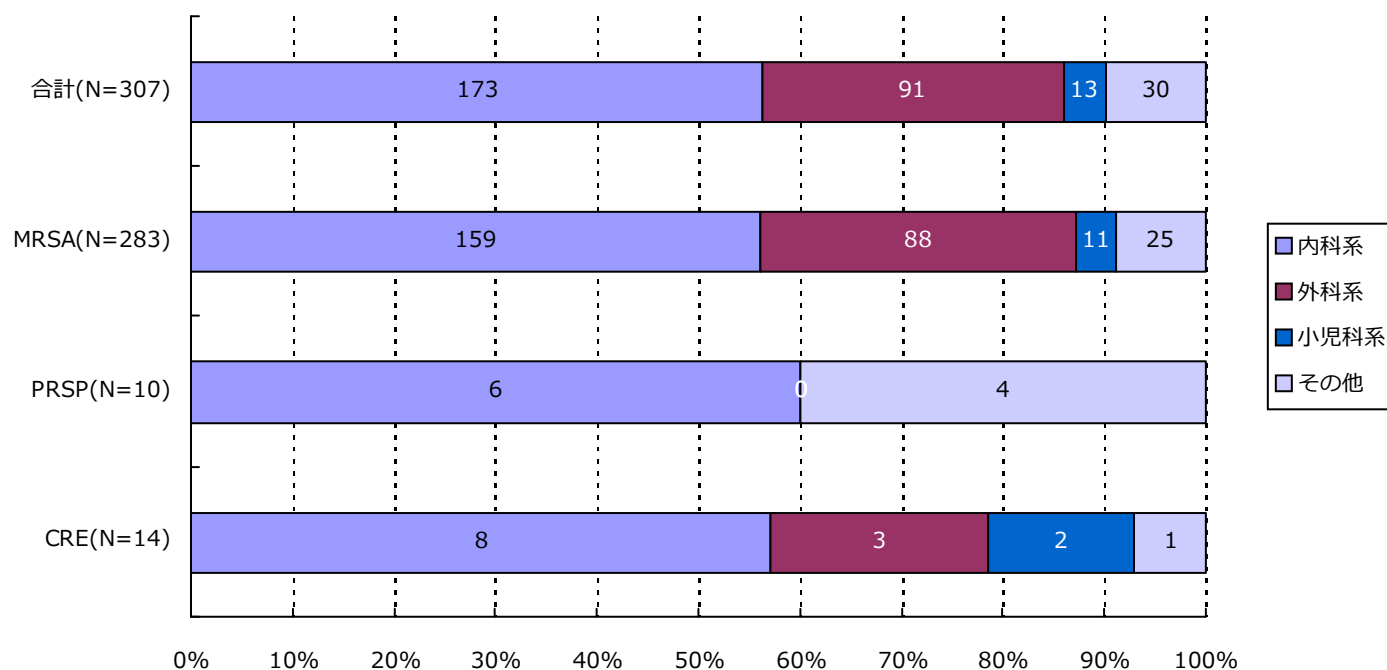
(長野県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	173(56.4%)	159(56.2%)	0(-)	0(-)	6(60.0%)	0(-)	0(-)	8(57.1%)
外科系	91(29.6%)	88(31.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(21.4%)
小児科系	13(4.2%)	11(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(14.3%)
その他	30(9.8%)	25(8.8%)	0(-)	0(-)	4(40.0%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)
合計	307	283	0	0	10	0	0	14

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠